



# 會工同窓会報

2018



## 校歌

嶺は秀づる磐梯山  
水は湛うる猪苗代  
これぞ乾坤秀靈の  
精気鍾り成る処

明治三十七春なかば  
礎堅くきずかれて  
星霜ここに幾かえり  
平和の覇者を育みぬ

身には白虎の粹を享け  
鶴を徽章に雄々しくも  
至誠勤勞一すじに  
進む健児の意気高し

峙つ嶺は嶮しくも  
寄せ来る浪は高くとも  
これ奮闘の活舞台  
これぞ我等の天地なる

作詞 吉田智 山村彌久馬  
作曲 新潟師範学校



## 『同窓会報発刊にあたって』

同窓会 会長 藤田 晴史

(昭40年電気科卒)

同窓会会員の皆様お変わりなくお過しのこととお喜び申し上げます。

今年の夏は、全国各地で猛暑や豪雨など地球温暖化の影響なのか、過去に経験した事のない異常な気象が続きました。

皆様の地域はいかがでしたか。健康を害されたり、災害に遭われたりしませんでしたか。

会津は七月・八月で三十五度を超える猛暑日が二十五日もあり、エアコンを一日中つけないと居られませんでした。

一方で、降水量が極端に少なく、周辺ダムの貯水量が十パーセント以下となり、放水を停止するダムも有り、農家の皆さんにとっては苛酷な状況でしたが、八月末に最高気温が三十五度以下となり、降雨もあって少し安堵しています。

今年是国内で明治維新百五十年として各種行事が行なわれていますが、会津は戊辰百五十年として九月の「会津まつり」をメインに数多くのイベントが開催されており、会津の歴史と気概を感じます。

学校創立百二十周年を二〇二三年に迎えることとなります。早いものです。

歴史と伝統を受け継ぎ未来に向けて、生徒の学習環境の整備や部活動の支援などに尽力するよう計画の立案・準備をしていきます。

生徒の人数も団塊の世代の時代に比べ減少し、現在は五科六クラスで、一学年二百四十名が定員であり、同窓会の財政も厳しい状況が続きますが、今後の同窓会活動に諸兄のご指導とご協力を賜り、微力ながら母校の発展に努力する所存です。

会員皆様の一層のご支援を重ねてお願い申し上げます。

最後になりますが、同窓生皆様の御活躍と御多幸を祈念して挨拶いたします。

# 第111回同窓会総会



平成30年度会津工業高校同窓会第111回総会は平成30年10月20日（土）ホテル「いづみや」に於いて57名の同窓会員出席のもと開催されました。

開会に先立ち本年ご逝去されました全国の同窓生の皆様のご冥福を祈り黙とうをいたしました。

総会は、事業報告、会計決算報告につき全議案可決承認されました。

総会終了後、からくり人形師 半屋弘蔵さんによる「からくり人形と、ものづくりの原点」の演題で記念講演と、からくり人形の実演を行いました。

ものづくりの学校、会工同窓生の皆さんですので真剣に興味をもって聞き入っていました。講演終了時には十数名が講師を囲み人形の仕組み等の質問をし、中々終了できないほど盛り上がっていました。

記念撮影終了後、懇親会へと進み盛会に終了しました。

幹事長 木村洋一（S50K）



会長 藤田晴史氏挨拶



議長 菊地登貴雄氏



総会の様子



総会校歌斉唱

# 平成30年度 福島県立会津工業高等学校同窓会収入支出決算書

(自平成29年10月1日～至平成30年9月30日)

収入総額 5,030,778円  
 支出総額 3,651,527円  
 差引残額 1,379,251円

## ◎収入の部

(単位：円)

費目	予算額(A)	決算額(B)	(B)-(A) 増減	摘要
繰越金	1,979,614	1,979,614	0	前年度繰越金
入会金	2,400,000	2,390,000	-10,000	新入生(239名×10,000円)
活動協力金	700,000	374,152	-325,848	会員よりの協力金※
総会費	500,000	287,000	-213,000	総会費、御祝儀等の収入
雑収入	8,300	12	-8,288	決算利息等
合計	5,587,914	5,030,778	-557,136	

## ◎支出の部

(単位：円)

費目	予算額(A)	決算額(B)	(B)-(A) 増減	摘要
総会費	700,000	554,300	-145,700	総会関係経費
会議費	670,000	805,581	135,581	各支部総会時の御祝儀、役員会補助
旅費	550,000	482,980	-67,020	各支部総会時の旅費
事業費	700,000	486,430	-213,570	広告代、各支部への助成
卒業記念費	160,000	153,000	-7,000	(校歌、応援歌、会工賛歌) CD代
体育文化振興会助成	100,000	100,000	0	体育文化振興会助成
慶弔費	40,000	18,664	-21,336	弔電、餞別等
消耗品費	50,000	72,301	22,301	事務用品、その他
印刷費	420,000	368,820	-51,180	会報印刷代(6000部)
通信費	200,000	177,655	-22,345	郵送代、電話代
事務費	80,000	128,736	48,736	コピーカウンター料、他
基金・積立	100,000	100,000	0	定期預金
予備費	1,817,914	203,060	-1,614,854	会工祭補助、入会金返金
合計	5,587,914	3,651,527	-1,936,387	

○収入総額5,030,778円 - 支出総額3,651,527円 = 差引残額1,379,251円は次年度に繰り越し致します。

※精算内訳(株サヲよりの報告)

- ・協力金入金額 1,379,000円  
 - 振込手数料83,276円 = 1,295,724円…①
  - ・会報発行作業経費 880,000円  
 (郵送費5157通 412,560円等含む)…②
  - ・事務手数料等 41,572円……………③
- ① - (② + ③) = 374,152円

会工同窓会会計・積立金

監査報告について


平成30年10月5日 歳入簿・現金出納簿・預金通帳および  
 支出調書等関係書類を調査照合の結果、適正に執行されている事を認  
 めましたので報告いたします。

平成30年10月20日

監事

佐野常雄 

監事

小山源昭 

監事

栗城和夫 

福島県立会津工業高等学校同窓会 会長 藤田 晴史 殿

# 平成31年度 福島県立会津工業高等学校同窓会収入支出予算書（案）

（自 平成30年10月1日～至 平成31年9月30日）

収入総額 4,987,551円  
 支出総額 4,987,551円  
 差引残額 0円

## ◎収入の部

（単位：円）

費目	予算額(A)	前年度予算額(B)	(A)-(B) 増減	摘要
繰越金	1,379,251	1,979,614	-600,363	前年度繰越金
入会金	2,400,000	2,400,000	0	新入生（240名×10,000円）
活動協力金	700,000	700,000	0	会員よりの協力金
総会費	500,000	500,000	0	総会 会費等の収入
雑収入	8,300	8,300	0	決算利息等
合計	4,987,551	5,587,914	-600,363	

## ◎支出の部

（単位：円）

費目	予算額(A)	前年度予算額(B)	(A)-(B) 増減	摘要
総会費	700,000	700,000	0	総会関係経費
会議費	750,000	670,000	80,000	各支部総会時の御祝儀、役員会
旅費	550,000	550,000	0	各支部総会時の旅費
事業費	600,000	700,000	-100,000	広告代、各支部への助成
卒業記念費	160,000	160,000	0	（校歌、応援歌、会工賛歌）CD代
体育文化振興会助成	100,000	100,000	0	体育文化振興会助成
慶弔費	30,000	40,000	-10,000	香典、花環代
消耗品費	70,000	50,000	20,000	事務用品、その他
印刷費	410,000	420,000	-10,000	会報印刷代（6000部）
通信費	200,000	200,000	0	郵送代、電話代
事務費	100,000	80,000	20,000	コピーカウンター料、他
基金・積立	100,000	100,000	0	定期預金
予備費	1,217,551	1,817,914	-600,363	
合計	4,987,551	5,587,914	-600,363	

付帯決議 科目間の流用については会長に一任する。

### 各支部への助成

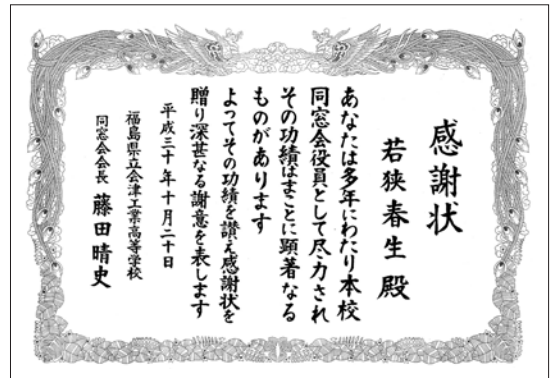
東京-10万・近畿-5万・東海-5万・若松-5万・福島-3万・日立-2万・郡山-3万  
 猪苗代-3万・坂下-3万・いわき-3万・湯川-3万・会津美里-3万・建友会-2万  
 会工電友会-2万・機友会-2万・セラ友会-2万

# 同窓会総会



## 感謝状贈呈

前同窓会会長 若狭 春生 様 (S38K卒)



## 記念講演



講師：人形師 半屋弘蔵氏

演題 「からくり人形とものづくりの原点について」

講演者 からくり人形師 <sup>ほんや</sup>半屋 <sup>こうぞう</sup>弘蔵氏  
本名 山本 弘 (やまもと ひろし)

- 1953年 新潟県糸魚川市に生まれる。
- 1971年 いすゞ自動車川崎工場入社。
- 1974年 いすゞ自動車栃木工場開設に伴い転勤 栃木県に移住。
- 1993年 師匠、半屋春光氏と出会う。からくり人形の制作を開始。
- 2001年 いすゞ自動車を退職。からくり人形工房設立（栃木県岩舟町）。本格的に、からくり人形の制作を始める。現在に至る。

平成30年に報道された主なTV番組  
4月 日本TV 遠くへ行きたい (全国)  
6月 NHK BS とちぎの旅 (全国)

## 懇親会



学校長 二瓶賢一様あいさつ



PTA会長 室井勝雄様あいさつ



エール



乾杯の発声  
松江顕彰会長 若狭春生氏



中じめ 近畿会工会長 石川善一氏



# 平成30年「会工祭」 ～未来へ繋がるものづくり～ 開催

平成30年10月20日（土）・21日（日）の2日間、3年に1度の学校祭り「会工祭」が行われ同窓会企画出展として半屋弘蔵さんによる「からくり人形の説明と実演」を行いました。

実演ではからくり人形の動きに驚き、説明に感動、そして「ものづくりの原点であるからくり技術」の大切さと素晴らしさを実感された見学者が多く見受けられました。

かなりの人気で見学者が多かったことから当初3回の実演を6回に増やし実施いたしました。同窓会といたしましては、今回の企画出展は会工祭のメインテーマである～未来へ繋がるものづくり～に少なからず貢献できたものと考えます。

筆頭副会長 浅田 誠 (S43E)





## 校長あいさつ 「会工の現状」

校長 二瓶 賢一

同窓会会員の皆様には日頃より母校の教育活動にご理解とご支援を賜りまして心より感謝申し上げます。また二月二十八日には、新たに二百三十四名の卒業生を新入会員として迎えていただき、ありがとうございます。

私は本校に着任しまして三年目となりますが、ますます本校が地域の方から大変期待されている学校であると感じています。特に商工業関係の要職にある方々に本校の卒業生が多数活躍されていたり、また多くの方から会津地域はもとより全国で活躍する人材育成の要請を受けました。この期待に応え、社会に貢献できる生徒の育成に努めていきたいと考えます。

昨年度も、同窓会総会をはじめ多くの各地・各学科の会工会からお招きいただき、都合のつく限り参加させていただきました。その際には、それぞれの会の役員や出席者の方々には大変お世話になりました。懇親会では、卒業した年や学科を超え、多くの会員の方々が在学当時に思いを馳せ楽しく談笑されている姿が大変印象に残りました。

私が生徒に常々話していることの一つに「自分と自分の学校に誇りを持つこと」があります。会津工業高校の歴史を知ることや多くの先輩方の活躍を知るとは、現在在学する生徒にとって誇りとなることに通じると考えます。私は先輩方から、在学当時のことや現在の生徒に望むことなど、いろいろなお話をお聞かせいただき、学校の活動・取り組みに活か

していきたいと考えております。

現在、生徒は大変落ち着いて学校生活を送っています。生徒数は七百七名（男子五百六十七名女子百四十名）また学校全体に活気があり、資格取得・部活動・進路実現に生徒・保護者・教職員が一丸となって取り組んでいます。昨年度の高校生ものづくりコンテスト二〇一七全国大会（広島県開催）では化学分析部門において準優勝、同県大会においては電気工事部門において優勝、などの生徒の大活躍がありました。また、進路状況や部活動・各種競技大会についても、大変健闘しました。生徒は先輩方から受け継がれた伝統を確実に継承し、発展させ実績をあげています。（詳細は別頁）

本年は三年に一度の公開学校祭である「会工祭」を開催します。今回は同窓会より「からくり人形の実演・展示」という企画をいただき、会工祭に花を添えていただいたものと感謝しております。同窓生の皆様にも久しぶりに母校を訪れ、現在の学校の様子や生徒の取り組みを見ていただければ幸いに思います。

私の学校運営ビジョンは、「生徒一人一人の輝かしい未来を応援します」「社会に貢献できる人材の育成」をスローガンにして、教職員一丸となって取り組んでいます。同窓会会員の皆様の支援に感謝を申し上げます、今後もよろしくお願い申し上げます。



昭和35年の校舎



現在の校舎



会工100年史編纂委員 江花光泰

会工の歴史の内、学校長・同窓会長各氏については述べてきたつもりだが、携わられた多くの方々について分かったことから紹介したい。

## 昭和33～38年勤務の田中貢先生について

昭和35年12月刊行の「図説会津若松の歴史」を何気なく見ていて、巻末に「会津近代俳句史」があり著者が船田蹊史と記載され、勤務先が「会津工業高校」と記されている。

「会工100年史」編集委員の一人として、申し訳ないが心覚えのないお名前であったのですが、旧職員録を見たのだが、柔道の船田元喜先生のお名前が出て、木造の旧柔道場の光景が思い浮かびしばし懐かしさがこみ上げたものだったが、「俳句」とは関係が薄いのかな！と会津図書館にて調べてみた。

今年のうつくし

あをあをと今年のうこぎ食ひにけり  
重き荷を暫く置きぬ春の石  
人通り絶えたる町の雪の山  
旧正月様の木高きあたりかな  
視野一瞬濡れて倒るる紫苑かな

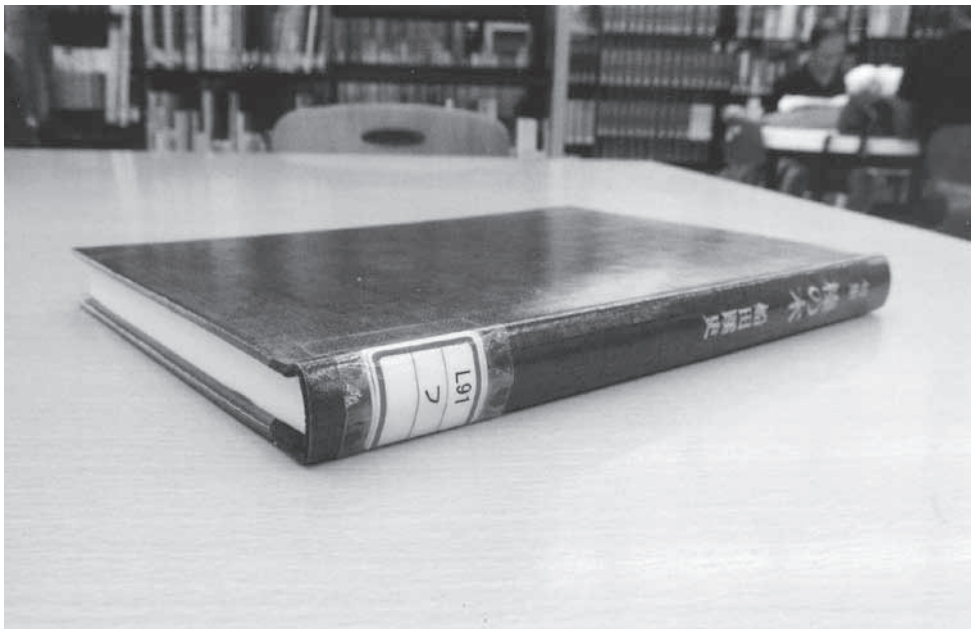
ヨルダンのはるかなれども春のパン

(会津史談会誌54号)

「句集榛の木」船田蹊史著があり、略歴欄から昭和33～38年会工勤務の田中貢先生と判明した、国語か社会の先生であつたらしい。

奥様が書かれた「あどがき」によれば、大正9年7月、河沼郡湯川村浜崎の生まれ、喜多方中から東京高等師範、文理科大(東大か)卒業、召集で台湾で終戦を迎える。戦後、教職につき高校歴任、母校の喜多方高校校長で定年を迎えられた。

加藤楸邨主宰の「寒雷」同人、現代俳句協会会員、民友新聞俳句部門選者、喜多方婦人会の指導、合同句集「桐の花」3集刊行とある。



# 鶴雲飛翔

## 東京会工会 東京の総会で還暦、古希の クラス会はいかがですか？

幹事長 戸野部 武彦  
(昭40M卒)

『総会に便乗してクラス会をやるう！』と本稿で呼びかけさせて頂いたのが2013年(平成25年)でした。主なクラス会は平成25年【33K 6名、40M 6名】、平成27年【38M 7名、40A 5名】、平成29年【31E 9名】、平成30年【40A 5名、43G 5名】本稿にクラス会集合写真を掲載】に行われ、お互いに健康で元気に再会できたことを喜び旧交を温めておられました。これを機会に43G 3名の方々が役員を引き受けて頂けることになり心強い限りです。



40Aのクラス会



43Gのクラス会

会津工業高校を卒業し、就職進学と進路は違っても、20歳代は仕事を覚えまたは勉学に、30〜40歳代は実力を蓄積し、50歳代は企業等の第一線で活躍され、

そして60歳の還暦を迎えます。若いうちは同窓会などは念頭にないものですが、『會工』を卒業して故郷を離れ幾星霜、同じ学舎で学んだことを絆とし、親睦を深めていけるのが同窓会です。クラス会ともなれば高校・青春時代に舞い戻り、総会で更に先輩後輩の輪が大きくなること請け合いです。仕事も一段落し還暦を迎えると、たいがいの方は青春時代の高校生時代を懐かしく思い出されるのではと思います。

昭和40年卒の我々高校生の時は、舟木一夫の『高校三年生』が流行したときでしたので、今でもその歌が流れると青春時代に帰ることが出来るような気がします。我々の高校生時代は在校生1500余名、学科の数が11科(12クラス)、毎年の卒業生は500名と言う時代でした。今の襟章各科略号と大分異なりますが、TLKCGMFEDASWと今でも誦じることが出来ます。これら学科変遷の詳細は『東京会工会々報100周年記念誌』【母校の設置学科百年の変遷】を参照願います。現在は5科(6クラス)①建築インテリア科(A)、②セラミック化

学科(C)、③機械科(M1、M2)、④電気科(E)、⑩情報技術科(IT)。今年の卒業生は234名。うち60%が関東地区に出たと学校長からの報告がありました。

ご存知とは思いますが、入学時に同窓会入会金を納入しています。この入会金は同窓会の収入の大部分を占めています。そして卒業時各クラス2名の同窓会連絡員が指名されています。この連絡員の連絡先は実家の場合が多く、実態と異なり案内の発送が出来ない状況です。

この度、東京会工会・田中会長により『同窓会連絡員名簿』を整理されましたが、全てが網羅されているわけではありませんで完成させるためには同窓会本部のお力添えが必要です。連絡員の制度はいつから始まったのかは不明ですが、この制度は同窓会の活動に対し大きな力になります。今後は連絡員との連絡、運用等を明確にしておく必要があります。

ます。「東京会工会だよりNo.17(平成27年4月20日発行)」によると、平成になってから平成27年までの卒業生は7816名、関東にお住いの方は少なくとも480名以上、現在ではそれぞれ増えていきます。少しづつですが平成卒業の方の入会が増えてきています。最近の東京会工会役員会で会員増強について議論しました。卒業したばかりの20歳代の方々の総会出席者は無料で招待する等もありましたが、肝心の連絡が出来ないので前

に進むことが出来ません。先ずは『同窓会連絡員名簿』の完備が望まれます。今年の総会では昭和40年卒の方(主に6回目の年男、昭和40年3月卒業時は女性の方はおりませんでした)の参加を呼びかけ、ある程度の参加増員になりました。今後は年祝(としいわい・還暦、古希等)の方々に総会でのクラス会を呼掛けることを提案します。

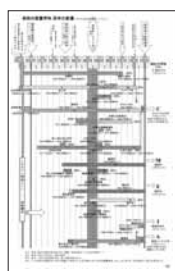
今度の総会時に還暦を迎える方々(昭和53年卒)、古希の方々(昭和43年卒)に照準を合わせて呼掛ける方法を探っていきたい。当然ながら年祝に限らず総会でクラス会をされることは大歓迎です。現在の総会会場上野



2018.H30年06月16日 土 上野・精養軒

精養軒・桜の間は十分な収容人員(着席320名)がありますので、沢山のクラス会をされるのも大丈夫です。クラス会を東京でも多くの方々とすることも一興です。東京会工会の総会は毎年6月の第3土曜日、来年は6月15日です。関東地区以外にお住まいの方々にクラス会に参加頂く場合は級友の同伴者として参加費用を優遇しています。なお、学校のホームページには同窓会のページが開設されており、平成30年東京会工会の総会が報告されています。さあ！東京上野の杜 精養

軒での還暦、古希のクラス会を企画してみたいかがですか。【母校の設置学科百年の変遷】を同窓会HPに掲載しました。



尚、東京會工会100周年記念誌はホームページにも掲載しております。

## 東海会工会 同窓会への思い

古川 春樹 (昭41G卒)  
会津をはなれて、早半世紀がたちました。  
電気科卒の同僚と夜行列車に乗り愛知県豊田市にきたのが、鮮明に思い出されます。

あの頃の会津は、四月まで雪の中、砂利道が多くて埃まみれ、交通の便は悪く、汽車通学でした。それ程、魅力のある町ではありませんでした。  
しかし、入社当時は、懐かしくて、盆と正月は毎年帰省していました。  
入社し、数カ月たったころ、東海会工会から連絡が来て、少し懐かしく、出席してみました。そこにいた先輩方がたは、かなりの年配の方ばかりでした。話

も合わないし面白い企画もありませんでした。そんな事から、しばらく出席はしていなかったのですが、同じ会社に大先輩がいることや、後輩が毎年入社してきたこと等で、時々出席する事になりました。

定年近くなつてからは、会津への帰省は、友人、知人も減り、親も亡くなり、急用がない限り帰る事がなくなりましたが、半年同窓会には、毎年出席するようになりました。半世紀前の会津の状況や変わりゆく会津について、酒を飲みながら語るのが心のオアシスになっているよう



に思われます。

家族ぐるみで付き合っていた同僚も昨年の暮れに他界してしまい、自分の世界が狭くなった気持ちになりました。

知り合いが多いほど、人生を楽しく、豊かにすることは身をもって感じるこの頃です。会えない知人は死んだと同じ、誰かが言ったこの言葉を思い出し、出来る限り、同窓会に出席するようにしています。

## 近畿会工会 雑感

会長 石川 善一 (昭39E卒)

平成30年6月23日(土)に近畿会工会定時総会を。大阪市内の「八幸」で開催しました。来賓として本部より藤田会長、木村幹事長、二瓶学校長、東京会工会田中会長、東海会工会遠藤副会長の御出席を戴き盛況に会を進める事が出来ました。総会では会員6名で人数的には寂しい参加でした。今期は役員改選があり、私が新会長に選出されました。同窓会に参加して以

来、常務理事、事務局長、副会長を歴任し、人材枯渇の末の就任です。斯様に会員減少は深刻の極みですが近畿会工会存続の為、微力ながら頑張るつもりです。

昭和39年電気科の卒業。高校時代のクラブ活動は、野球部(盲腸で数カ月で退部)。高校3年陸上部円盤投げで県大会出場。卒業後、何とか鹿島建設に入社(全世界を飛び回る積り)。当初、関東・東北を希望したが、なぜか関西へ配属、以来定年まで43年間、関西地方の地下工事(地下鉄・共同港・地下河川・下水道)ほとんど公共事業に従事した。地上の工事は、高架橋・関西トンネル改修工事の3年間だけである。定年後、4年間、関連企業の代表取締役を勤めた。

その後、現在までシールド工事関連の会社で技術アドバイザーとして勤務している。75歳位まで勤めたい。現役の間、地域のソフトボールチームで35歳から57歳までプレーをした。今年72歳。古希も過ぎ、益々元気にゴルフ等に励んでいる。その為、健康維持に努め、特に血圧管理を第一としている。食事・飲酒・睡眠・運動管理に独自の目

標を定め実行中。特にウォーキングは隔日、8千歩以上を目指し、歩数の記録(10年以上)体重測定、記録、毎食の記録を実践(5年以上)。また、定期的な血液検査、目の検査、歯の検査、胃カメラ、大腸カメラ等を実施。自己管理を徹底している結果、病院にかかる事もなく、風邪も40数年間ひいていない。健康寿命を延ばし、人生を豊かに、円満な家庭を作り、医療費の削減などで社会貢献に繋がった。老後を楽しく生きる為に、平均寿命でなく、健康寿命を延ばし、ボケない脳、こけない脚力を作るため、ウォーキング、踵落とし等、現在実行中の項目は出来るだけ続けて行きたい。

## 若松会工会 恒例の「施設見学会&深緑の集い」を開催

会長 浅田 誠 (昭43E卒)

本会の年間活動の一大取組みであります表題行事を、本年は6月14日(木)に市内企業の(株)保志・アルテマイスター保志様を見学・研修させて頂きました。参加者は10名程と少人数ではありますが、地場産業の素晴らしさ、物づくりの匠の技に感

# 質実剛健

# 至誠勤労



初・業界初のグッドカンパニー賞グランプリの全国表彰も受賞され、これまでの社訓が立証された証であると認識を新たにしました。

企業の構成内容としては、本社・工場を門田町一ノ堰村東に構え、原木の裁断・乾燥を門田町第一漆器団地内で行ない、日新町の店舗で販売事業を営んでおられます。

嘆・感動するとともに、余材や眠っていた木材を使用しての小箱等のオリジナル商品からの、物を大切にすることを学び、日本人の精巧、緻密な原点を再認識した一時でした。

アルテマイスター保志様は「仏壇・仏具・位牌製造販売事業」「仏壇リメイク事業」及び「オリジナル木製品開発販売事業」を営んでおられ、1900（明治33）年の創業以来、原木の買い付けから販売までを一貫して行うことでお客様のニーズへの素早い対応と、さらなる品質向上を目指しておられ、会津若松の地場産業の心意気を痛感したところです。

2014年には会津若松市経営品質賞大賞を受賞しておられ、過去にも1977年に東北地方

## 坂下会工工会 設立40周年事業報告

会長 梨子本 傑  
(昭41K卒)

### ●定期総会2018

当会は昭和55年に設立され、40周年を迎える節目の年度であるので、歴代会長4名（2代・佐藤政利氏、3代・江川一正氏、4代・大堀順一氏、5代・五十嵐一夫氏）に感謝状を贈呈いたしました。

記念講演会は大堀順一顧問による動画による「松江豊寿・春次兄弟の足跡」と題して総会終了後に行いました。

他の事業としては記念会報2018の発行、福島第一原子力発電所の視察研修や本部の同窓会・



歴代会長へ感謝贈呈



定期総会2018

母校への支援協力、各校同窓会坂下支部との交流などであります。

次年度の総会は会員組織の充実を図りながら来年度の総会には35名以上の参加を目標に活動していきたい。

### ●設立40周年記念会報・2018

1月の役員会時に下記の編集委員を任命し、3月下旬より会員の寄稿や各校の同窓会・坂下支部への依頼を開始。6月初めより編集作業を進めました。八月中旬に100部を発行し会員登録されている会員と総会時に出席された来賓にも配布します。今回の編集に際して、小池増三（昭41C）、鈴木美保（昭60A）、田中知徳（平14F）さんのご協力で行うことができました。

### ●役員会

役員会は3回開催しました。1回目は12月初めに忘年会を兼ねて開催。2回目

は4月の観桜会を兼ねての開催。3回目は7月下旬に総会に向けての開催。

### ●坂下地区の同窓会対抗ゴルフ大会

今年は7月に開催。当会より大堀順一顧問・佐藤悦朗副会長ほか6名参加。終了後各校との交流を深めた。

### ●研修会・見学会

10月22日（月）に東電・原発第一発電所見学を実施いたしました。坂下会工工会が主催して坂下地区の住民の方にも呼びかけて開催。15名参加。

## 猪苗代会工工会 猪苗代で活躍している 20代のOB達

会長 山口 一男  
(昭37A卒)

今年の7月後半から9月末迄、国立法人新潟大学の建築物、防火設備及び耐震診断の業務に関わった3名の活躍を紹介いたします。

先ず私と武藤巧君（平成27年年度卒、新進気鋭の20歳）が現場で調査方法、判断や記録の方法等について丁寧な打ち合わせを行いました。

調査は新潟県内、4地区で実施しました。新潟市内には五十

嵐地区 大学本部庁舎・工学系棟・農学系棟・理学系棟・教育学系棟・人文社会学系棟・中央図書館・体育館・研究所等、旭町地区 実験施設・研究棟・病院等、西大畑町地区 附属新潟小・中学校、特別支援学校があり、長岡市に長岡学校町地区附属長岡幼稚園小・中学校等があります。数多くの建築物の調査となりました。

それらを武藤君、前川慎吾君（平成24年度卒二級建築士試験を1回で取得した23歳）と稲田将大君（平成21年度卒、一級建築士資格取得に向け奮闘中の26歳）の若者達3名の熱心な仕事振りは、年長組である私達は学ぶ事が多々あり感動すら覚えさせられました。ポリウレームの大きさに武藤君は、自ら新潟市内に宿泊しながら成果品をまとめたいと申し出ました。他の2名



は早朝出勤して調査に当りました。今夏は大変暑い日が続き閉口しましたが、他の社員5名も若者達から元気をもらってまとめました。

### 湯川会工会のあゆみ

副会長 佐野 常雄 (昭31E卒)

只今、菅沼章生会長が、体調不良のため、施設入所中でございますので私から報告いたします。坂下会工会は昭和54年に設立され、40年が経過されました。その間、湯川会工会のご指導頂き厚く御礼申し上げます。私たちの会、現在休会中でございます。

今迄のあゆみを下記のご報告申し上げ、充分反省し、再会に結びつけ、坂下会工会上のようにすばらしい会になるように頑張りたいと思っております。

湯川会工会の再会は、私の湯



川村公民館在職中、坂下会工会4年後、元窯業科長高畑恒夫先生宅の立派な蔵座敷で、昭58・8・27に設立総会と役員選出で、会長 山口瑞穂 (昭13T) 氏、副会長 菅沼章生 (昭29C) 氏、事務局庶務に私、会計 五島甚 (昭23T) 氏、監事 星行雄 (昭30E) 氏、同兼子勉 (昭37E) 氏に決まり、翌日昭58・8・28、坂下会工会の総会に会長・副会長・事務局が招待され色々勉強になりました。昭58・11・1初めの芋煮会に8名で参加しました。昭63・7・24の総会には8名外、白岩滋村長、池田勝義助役 (第二高卒) の参加頂き盛大に行いました。平元・5・5副会長菅沼章生氏の村議二期目の当選

祝賀会、10名の参加でした。平4・12・18忘年会・8名の参加でした。平7・8・25湯川会工会旗の披露式、坂下町寿司奈良屋にて7名の参加でした。

平10・4・1本校同窓会会報に、会長山口瑞穂の「俳句に生きがい語る」を載せました。平17・6・13総会に6名の外、本校学校長熊田良治氏、本校同窓会副会長手代木利夫氏、同事務局長梨子本傑氏、同事務局長真田郁夫氏が参加されました。

その後は、会長 山口瑞穂氏 体調不良で再会出来ず、坂下会工会の総会には、副会長菅沼章生氏と二人で出席させて頂き、色々のご指導を頂いて帰るのですが、未だに再会出来ずに居りますこと報告申し上げます。物故者《役員で特にご苦労された方》

- 坂内季佐久氏 (昭4T) 昭61・10・9 (76)
- 高畑恒夫氏 (昭4K 元窯業科長) 平6・10・8 (85)
- 物江民雄氏 (昭23T) 平10・9・7 (69)
- 山口瑞穂氏 (昭13T 元会長) 平21・9・3 (91)
- 五島 甚氏 (昭23T) 平26・4・14 (87)

○大竹寛二氏 (昭34M) 平29・8・8 (77)

### 会津美里会工会 格差？

栗木 俊昭 (昭45D卒)

第10回定期総会を2月24日に本部より藤田新会長・木村幹事長、学校より二瓶校長先生を来賓にお招きし開催しました。10年の歩みを振り返り、母校への思いを新たにし懇親会に移り「みんな同じに10歳年取ったなあ」との認識のもと親睦を深めました。

本会事業の一環として毎年会津美里町からの新入生に激励顕彰として記念品を贈っています。今年は20名の新入生がおり一学期末に二瓶校長先生立ち合いのもと母学校長室にて贈呈式を行うことができました。新入生皆さんの今後のご活躍をお祈りいたします。

さて、今年の夏の甲子園高校野球選手権は100回記念大会ということで大いに盛り上がり、優勝旗を白河の関を越えようと奮闘した金足農業高校。勝利の校歌を歌う彼らの勇

# 初志貫徹

# 一意専心



## 建友会 『総会を、終え』

会長 白井 武男  
(昭45A卒)

一年ぶりの会報紙面挨拶となりますが、皆様に於かれましては、「会工・健男児」として益々健勝のことと確信致します。

さて我々、建友会は建築科・建築インテリア科と呼称を変えてはおりますが、本校で建築を学んだ卒業生が会員であることはご承知のところ。生業の道も様々で、設計事務所・建設業・不動産業・設備業（給排水／電気／空調）・官公庁・工場の施設担当／解体・産業廃棄物処分業…と多岐にわたります。また、賛助会員企業様の経営者や要職を務める卒業生も多く、



この様なネットワークは本会が自負できる礎であります。改めて感謝申し上げます。改め

本題となりますが、昨年の総会は総勢133名の参加であったこと、今年は第1回から70回（18才から89才）までの参加に奮闘致しましたが、力及ばず、あと一步の中で今春卒業会員を含め総数170名弱で第57回総会を盛会に開催する事が出来ました。また、生徒諸君の模型作品を会場に展示披露し、OBの方々より「頑張っているな！何か応援したいな！」との激励の言葉に加え、模型資材資金を募金として頂戴致しました。

多岐にわたる会員の存在は前段で述べさせて頂きましたが、このネットワークを活用し本校の卒業生が魅力を感じて地元就職が出来る環境創りは我々の責務と痛感しております。その為にも、会員各位の更なる研鑽と賛助会員企業様のご隆盛は欠くことが出来ません。「我々の住む会津、我々の住む街が後輩にとつて魅力ある街」を願ひ、また、「街づくり」「人づくり」を念頭に微力ながら奮闘して参ります。昨年と同様の締めとはな

りますが、今後共のご協力をお願いいたします。

## 会工電友会

事務局長 白井 達夫  
(昭43E卒)

会工電友会は平成7年（1995年）6月に設立。現在は昭和26年卒〜昭和60年卒までの会員110名で諸活動を展開。会の年間の恒例行事を紹介いたします。

☆会報発行と卒業生への記念品贈呈

会報「電友会だより」を2月末に発行。各種活動や会員の近況報告などに加え、毎年、電気科の主任・卒業生担任・在校生



から寄稿頂いており、教職員・在校生にも提供しています。同窓会入会式当日には卒業生への記念品（最近では卓上電波時計）を贈呈しています。

☆史跡探訪

農作業が一段落する時期に会津管内の名所旧跡を巡っています。今年は、6月15日に参加者15名で西会津の「出ヶ原観音」（国指定重要文化財）はじめ、会津ころり三観音の一つである「如法寺（鳥追観音）」では終活に思いを馳せ、更に例大祭で賑わう「大山祇神社」を巡り、清々しい気持ちで心地好い汗を流しました。

☆施設見学会

台風21号接近直前の9月3日、会津本郷焼の窯元「流紋焼」を会員8名で訪れました。流紋焼でアルバイトをしている会員の縁もあり歓待を受けました。流紋焼では電気と係わりのある障子も受託製造しており、興味深く見学しました。見学後は「手びねり」に挑戦!!。プロの懇切丁寧な指導の下、悪戦苦闘した

姿に清々しい感銘を受けたのは私だけではないと思います。昨今の高校野球は越境選手の活躍で郷土感が薄れているように思えます。中央の野球名門校で埋もれるより地方の高校から甲子園を目指す選手、人生いろいろで一度きりの青春を謳歌し頑張ってもらいたいところです。地方では少子化により、部活動特に運動部が複数の高校との連合によりチームを結成し参加する傾向が増えてきているようです。中央と地方の格差？また公立高校及び職業高校が少なくなり寂しさを感じるところです。

REPORT & NEWS SAKE

から世界に一つだけの見事な？  
器を完成させました。

☆定例総会（今年は10月19日に  
開催予定）

定例総会は、毎年10月の第3  
金曜日に開催。この設定は、遠  
方の会員が同月第3土曜日開催  
の本部同窓会総会に参加し易い  
よう配慮したものです。懇親会  
の酒量は徐々に減少傾向ですが  
士気は益々高く、お開き前には  
応援歌で盛り上がるのが常です。

◎会員募集

最大の課題は会員拡大です。  
この同窓会報をご覧の皆様、ゼ  
ひ知人・友人や後輩をお誘い  
ください。ご一報をお待ちして  
おります！

〈会員募集担当〉

菊地 進（昭47E）

☎080-5551-9941

〈事務局〉

白井達夫（昭43E）

☎090-3753-5718

# 機友会

会長 栗城 和夫  
（昭41M卒）

日頃から機友会に対しまして  
ご理解・ご支援を賜りまして心  
より感謝と御礼を申し上げます。  
機械科・精密機械科の同窓生

で平成11年に発足しましてから

早20回目の総会を7月7日（土）  
午後5時から日本料理「生粋」  
にて開催しました。幹事長菊地  
登貴雄氏を進行役として、佐藤  
義之副会長の開会の辞に続き、  
会長として「会員の1年間の活  
動に感謝の意を述べると共に今  
後も会員増員の活動にご協力を  
お願いした旨を、さらに機械科  
の創設のため多額の寄付をされ  
ました恩人であります松江春次  
氏、兄松江豊寿兄弟の偉業を称  
えるための会を立ち上げたいと  
のよびかけがあったことを報告  
し、今後推移を見守って行きた  
い」とあいさつをした。

議事に入り、平成29年度事業・  
会計報告がなされ承認された。  
次に平成30年度の事業計画等が  
審議され承認されました。  
続いて懇親会では、二瓶賢一  
学校長・藤田晴史同窓会長のあ  
いさつをいただき、茂木利幸機  
械科長から機械科の現況等など  
の説明を受けました。

その後、「松江豊寿・松江春  
次の偉業をたたえる会」に対す  
る機友会としての対応は会をし  
ては行なわず、個人のレベルで  
の参加とすることを役員会によ  
り話し合いました。

# セラ友会 設立19周年・事業報告

幹事長 梨子本 傑  
（昭41K卒）

●定期総会開催

平成30年7月14日、会津若松  
市のホテルいづみみやで開き、設  
立19周年の節目を祝った。約47  
人が出席し、校歌を斉唱し、二  
瓶正人会長があいさつ。本部同  
窓会への支援・協力や研修会並  
びに在校生の支援、会報発行な  
ど今年度事業計画を決めた。更  
に来年は設立20周年を迎えるこ  
とになるのでその記念事業も組

●会報2018（第15号記念）  
発行

平成30年6月に発行。部数4  
00部。会長をはじめ昨年度の  
活動内容、会員の会員らの寄稿。  
また、同校セラミックス化学科の  
活動などを掲載。さらに5月には  
（佐藤松夫氏・昭33卒）、高  
羽芳満（昭21卒）の両名の顧問  
がご逝去され、お二人を偲んで  
の記事も盛り込みました。

今まで発行した会報編集作業  
に於いては、すべて板垣正宏氏  
（35K卒）、梨子本傑（41K卒）  
が担当し、併せて広告も掲載し  
ております。

●研修会

○秋のミニ研修会

平成29年9月に11名が参加。  
研修会は「越後と会津を語る  
会・湯川大会」に参加。講演は



「東国仏教からみる徳一菩薩」、  
研究発表は食文化に見る「越後  
と会津」の絆と題してのもので  
した。さらに勝常寺拝観し有意  
義な一日を過ごした。

○春のミニ研修

4月19日に桜満開の好天のも  
と開催しました。参加者は12名  
で会津の名所・旧跡をみて回り  
有意義な一日を過ごし親睦を深  
めることができました。



春のミニ研修

●入会式

入会式は平成30年2月28日  
（金）に母校のセラミック化学  
科の教室にて行いました。同科  
は窯業科からセラミック科への  
名称変更を経て七年前から現在  
の科名になった。セラミック化  
学科として7回目の卒業生とな  
った。

卒業生40人が入会した。二瓶  
正人会長が歓迎のあいさつを述

# 威風堂々

べ、新入会員代表の梶内雄介君に会長賞、全員に記念品を贈った。

### ●役員会・新年会

平成30年2月8日、母校同窓会館「鶴翔会館」にて開き、今年の事業として総会や入会式、講演会、研修会の開催、会報の発行、組織充実などの案件などに取り組むことを確認した。終了後新年会を開き、出席者が一年の抱負などを語り合いながら交流を深めた。

## 昭和電工(株) 東長原会工会

支部長 大塚裕一郎  
(平30卒)

同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

会工同窓会東長原支部は、昭和電工(株)東長原事業所の敷地内に立地する企業4社で働く会津工業高校の卒業生で組織されており、71名在籍しています。

今年も平成30年度の卒業生を新たに4名会員として迎えることができました。

会員相互の親睦を図るため、毎年春に総会、秋に芋煮会を開催しています。

# 温故知新

同じ敷地内で働いている仲間ですが、会工同窓会会員同士膝を突き合わせて話をする機会はこの場だけ：の会員もおり、年2回の同窓会がお互いの近況を知る貴重な会になっています。

以上

## 三菱伸銅(株) 鶴友会

会長 高橋 誠  
(昭60E卒)

同窓会の皆さまにおかれましては、益々のご健勝のこととお喜び申し上げます。

鶴友会(かくゆうかい)とは、三菱伸銅株式会社若松製作所に勤務する会津工業高校OB会のことです。

近年は、定期採用者、中途採用者の新入社員が増え、総勢108名の大所帯となっております。

会の行事としては、親睦旅行があるのですが、会社の勤務体系の変更などもあり、会員全員が一斉に休めることが出来なくなり、十数年実施していませんでした。会員内からは「どうし

ても親睦旅行を開催したい」との声が多く、2年前のお盆休み前半に北海道旅行を実施しました。実施した時期がお盆と言うこともあり、10数名の少ない人数でしたが、小樽や札幌ビール園など2日間食べて飲んで楽しい旅行となりました。余市ニッパークスキー工場の見学では、ドラマのマッサンで一躍脚光を浴びた蒸留所であったので、沢山の観光客とともに、この場所はTVで映った建物だと盛り上がりました。やはり親睦旅行は楽しいものであり、会の良い思い出となりました。



サッポロビール園でジンギスカンを食べている

今年、幹事会で皆平等で、大勢の会員が参加出来る方法は無いかと、何度か協議しました。その結果、シフト制の班ごとに

旅行することとなりました。内容は、班の休日が土日に当たっている日を設定し、その日に常日勤者が参加するようにしました。今年、2班、来年は2班で計4回旅行を企画しています。4回の総計で50名以上参加者があれば、この方法で親睦旅行を継続して行きたいと考えております。今年の第1回目は11月であり、場所は福岡への旅行を企画しております。現時点では、参加者22名。博多観光や太宰府天満宮の参拝を計画しております。



旧北海道庁前

今後も継続的に親睦旅行を企画し、更に会員同士の親睦を図りたいと考えております。

## OB会

### 旧職員OB いのしし会

旧産業科職員 梨子本 傑  
(昭41K)

平成20年退職。年に数回、定期的に会合をもつて親睦を深めています。



### 会工元気会

庶務 梨子本 傑  
(昭41K)

10月18日(木)に「第21回元気会」が開催されました。総会には会津迎賓館「寿し万」を会



場として45名のみなさんが参加されました。

会工から来賓として学校長二瓶賢一様に出席していただき、初参加の渡邊州先生、益子茂先生、内藤恵美子先生をお迎えしての開催でした。

総会後は、長い時間までなごやかに親ぼく会がおこなわれました。



※今年の5月21日に「20周年記念行事」を開催しました。

会工元気会の「創立20周年記念行事」を5月21日に実施し、35名の会員の皆様が参加しました。

会津工業高校から学校長二瓶賢一先生に来賓としてご出席を

いただき、遠くはいわき市や郡山市などからも駆けつけていただき、皆様に盛り上げていただきました。

行事では、会長のあいさつの後、二瓶校長のあいさつ、そして設立以来皆勤の赤城良一先生のスピーチをいただいた後に「松江豊寿・春次兄弟の足跡」のDVD鑑賞を行いました。

午後は、会津工業高校へ移動し、創立100周年時に完成した「鶴翔会館」とその資料室、および学校の大恩人の銅像などを見学しました。

好天に恵まれ、懐かしい校舎を見学しながら当時の思い出にひたり、親睦を深めることができました。

## クラス会

### 昭和30年3月卒業 窯業科クラス会

渡部 敬守 (昭30K卒)

15年前より毎年会津管内で開催している。今年は4月16・17



日芦ノ牧グラウンドホテルにて開催。参加者は8名で遠くは千葉県より参加。

### 昭和37年窯業科 (現セラミック化学科) 卒 同級会の開催

若狭 春生 (昭38K卒)

2年毎に開催している同級会が昨年は台風で中止になり、74才にもなると同級生の顔が見たくて急遽開催。若松駅集合で猪苗代町の中の沢温泉平沢屋で開催しました。4月25日でしたので



S37年度卒 会津工窯業科同級会 2018.4.25

山沿いには桜が咲き、新緑と相まってきれいでした。13名の参加で久しぶりに顔を合わせ、昔の面影との差に多少に驚きを感じ、高校時代の話になり、酒席でも和気あいあい楽しんでひと時を過ごしました。

### 昭和38年度電気科 卒クラス会

細野 敏充 (昭38E卒)

恩師井上精三先生の叙勲を祝



う会をきっかけに始めた会が4回目となりました。会津若松市の東山温泉御宿東風で開き、盛り上がりました。

### 昭和41年3月卒業 窯業科クラス会

片岡 和夫 (昭41K卒)

6年前から毎年開催しています。地元メンバーが会津若松市の芦ノ牧温泉芦ノ牧グラウンドホテルに集まりました。学生時代の話などで盛り上がりました。

# 乾坤秀乃壺

# 根性一途



43名中21名・49%の参加者をもって、盛大且楽しく時の過ぎるのも忘れる程に懐かしく思い出深い一時を過ごしました。

## 『昭和43E会・同級会』を開催

卒業後半世紀  
なじよしてゐる？

浅田 誠（昭43E）  
実行委員会一同（11名）  
昭和43（1968）年3月、まだ雪の残る中での卒業式で、学舎を巣立つてから50年・半世紀が経った今年の6月20日（水）にホテル・リステル猪苗代（ウイングタワー）で古希祝いを前に表題のサブタイトルを基に卒業生48名中5名の物故者を除き



この様に卒業後50年を経過しても、多くの同級生と有意義な時を共有できるのは、思春期の人格形成時に出逢えた友とは、伴侶にも匹敵する程の永久（トワ）に忘れ得ぬ思いを持つ事ができる事を改めて実感した同級会でもありました。

今回の同級会が盛会だった背景には、S43年の卒業後、翌年の新年会から地元元会津若松市在住のメンバーが募り、毎年開催

してきた事をベースに、60年以降定年退職と共に地元に戻られたり、少し自分の時間も増えた事から、新年会に加えて2ヶ月毎に「43E会」を開催する運びになり、11名の構成メンバー全員で実行委員会を編成し、参加者を募った事も奏功したのかも知れませんが、基本は個々の自意識の問題と考えれば素晴らしい同級生に恵まれて、本当に幸せな人生である事を痛感したところであります。

恩師の堀金敏幸先生におかれ



恩師の堀金先生ご夫妻と白岩実行委員長



記念品として配布した湯呑み茶碗

では、84才になられ、22年前に「胆のう」摘出（4年前に右腎臓摘出大手術を受け、その結果4年前から週3回（月・水・金）の人工透析を受けておられ、出席が適いませんでしたが、後日記念品や、当日のビデオ等一切を持参し、自宅にお伺いし、元気に昔話を拝聴する事が出来、安心すると共に、先生からの元気を頂戴し、今後の奮起を促された思いでありました。

同級生48名と校章・恩師・開催内容を記した記念品の湯呑み茶碗、当日のビデオ撮影のCDは参加者から忘れ得ぬ宝物を頂戴したとの御礼談もあり再会を熱望して散会しました。

## 寄稿

### 故郷坂下に感謝をこめて「道路元標」を旧態に帰す

坂下会工会顧問 大堀 順一（昭27C卒）

町役場前、電話ボックス前に設置されている「道路元標」は、役場前県道の歩道設置工事の為に一時的に光明寺に移されてい

ました。  
昭和39年（1964）に寿司店「奈良屋」を創業し、以来49年の間会津坂下町の食通達を魅了してきましたが、平成22年（2010）に惜しまれつつ閉店。その時、「49年間の記念に、ここまで世話になった坂下町の為に何かできることはないか。」と考え、そして、光明寺においてある「道路元標」を思い出し、感謝の気持ちを込めて、これを元の位置に戻すことにしたので

す。  
元に戻すと言っても簡単にできることではなく、町役場や町議会や関係部署との折衝など、ご苦労が多く大変でした。



写真前列右から2人目が大堀氏

平成22年12月9日町役場前で除幕式が行われ、町の基点として再びその歴史の時計が動き出しました。

「道路元標」とは、大正8年（1919）道路法施行令によって各市町村に設置することが定められました。大正9年（1920）施行後全国で1万2千個余りが設置されたそうです。

当時の坂下町の基点は「字市中三番甲3671番地々先道路」です。これによって戦前（日中戦争・第二次世界大戦）の日本の道路網整備が本格的に始まりました。整備では各市町村の道路元標を結びながら道路が施設されて行きました。道路元標は、宿場町のように街道をもとに町が発達した場合は交通の要所に、城下町や門前町の場合は寺や神社仏閣の門前にされたことが多かったのです。

会津坂下町の場合は、旧越後街道の宿場町として発達してきましたが、蒲生氏の会津統治時代からは農商工業の町として発展してきました。現在の町役場の場所は、江戸時代後期には会津藩坂下組郷頭石本家の屋敷がありました。明治6年（1874）にその屋敷の一部を間借りして、公立坂下小学校と戸長役場が併設されました。この標柱は、それを物語っています。

## 創設者・二瓶隆男 氏故人を偲ぶ

坂下会工工会副会長 伊藤 隆

坂下會工工会が、つつがなく創立40周年を迎えることができたのも、創設に並々ならぬ情熱を注がれた大先輩・二瓶隆男氏を忘れてはなりません。当時全国的に、町単位での會工会設置は例がなく、故人は早くから単身で若松会工会に所属し活動されておりました。その頃に坂下會高会・坂下若商會が相次いで設立されていたことに端を発し、本校同窓会に対し坂下會工会を設立したい皆を積極的に掛け合い同意を得たことが創設の気運が高められた由縁と知ることが出来ます。

設立準備に際し私が勤務先での後輩の立場にあり、丁度懸案の建築士会坂下部会（約30名）の設立を終えていた経験をかわれてか卒業生名簿作成を任せられました。同職の後輩・高久俊昭氏の手伝いと、先輩・大堀順一氏からの情報を得て約50名の卒業年度、科目別を記した名簿作成に至りました。

先ず、主たる大先輩には手分

けして個別訪問し、設立主旨の説明で了解を取り付け半年後には準備完了となりました。故人の計らいで慰労の酒席では、当時真夏でしたが汗をかきながら爛酒を嘔む故人に相対し、生ビールをご馳走になり御伴をしたことが思い起こされます。また、これまでの準備に掛かる経費の大半が故人からの支出で賄われており、今更ながら感謝しております。

設立当時は好天に恵まれ、ご来賓として母校より同窓会会長並びに学校長、坂下町町長をお迎えして、出席者38名となり、開催場所「奈良屋食堂」の宴会場いっぱい賑わいとなり、初代会長・二瓶隆男氏喜びの設立挨拶が響き渡りました。準備を進めてきた大堀順一氏を事務局に推し、私と高久俊昭氏が庶務・会計を担当しスタートしました。坂下會工会先駆者・二瓶隆男氏故人を偲び、合掌。

## 松江春次翁の 足跡を訪ねて

坂下会工工会副会長 佐藤 悦朗

松江春次翁は南洋興発会社の成功により、砂糖王としてその名を全国に轟かせた。翁は昭和14年本校に巨額の私財を寄付し機械科を誕生させた恩人である。春次翁の祖父松江良策は訳あって仙台藩より出奔し、会津坂下で医者を開業している。その子で松江久平が春次翁の父となる人物である。父久平は戊辰戦争で会津藩士として戦っている。

翁は明治9年会津若松の生まれ。春次・ふみ子夫妻には男三人女三人の六子がおられる。平成11年、末の娘ゆり子さんのご子息、佐伯康次氏が墓参りに来られ会津ゆかりの地を廻られ折、本校梨子本先生（当時）の案内で坂下にも立ち寄りられ坂下会工会大堀会長（当時）と懇談している。その後康次氏の兄、圭一郎氏も来町し、サイパンの様子等お聞きして「松江春次翁を訪ねる会」を坂下会工会企画し、平成13年4月に9名の参加のもと出発しました。

サイパンは大戦（太平洋戦争



争・第二次世界大戦）で限りなく破壊されたと聞くが砂糖王公園の春次翁の銅像はなぜか破壊を免れている。閑静な公園の一隅には当時サトウキビを運んだ小型蒸気機関車が展示され、中央には一際聳えたつ春次翁の銅像が青いサンゴ礁の海を見つめながら悄然と立っていた。台座には銃弾の跡が生々しい。



北マリアナ連邦のペドロ・テノリオ知事を表敬訪問し、公園の保存管理をされていることについて大堀坂下会長より謝辞を申し上げた。

知事にも一度シユガーキングダのふるさと会津へお呼びしたいものと思う。

サイパン行きにはお孫さんの佐伯兄弟夫妻もわざわざ現地までお越しになり、何かと面倒をみて頂いたことに感謝を申し上げたい。百周年の節目に、春次翁の人間愛、郷土愛に触れ誠にすがすがしい気持ちになった。

お孫さんの佐伯圭一郎さんは、度々会津坂下町を訪問され、坂下会工会の皆様と交流されております。又、佐伯さんは会津の

# 百戦錬磨

精神文化を全国に発信すべく日々努力を重ねられており、会津士魂の持ち主でもあります。

## 夢を生み出す人、 生み出せない人

セラ友会会長 二瓶 正人  
(昭37K卒)

私は日本人特有の優れた美意識と感性で、自然の美しさや人生の哀歓を歌い上げた場所に行くのが、大好きになりました。これは全てセラ友会のミニ研修会が原点です。梨子本幹事長の企画です。そして古里会津の香りと文化を身に付けた品のいい100歳になりたいです。人間が生命のある限り成長を続けられるものなら、最大限に成長してみたい。そしてもっと魅力的な人間になるのだ。生きるこ



H30.4.19撮影 佐藤松夫先輩と  
白虎隊引きあげ洞門弁天洞窟前にて

とは素晴らしい!!だから長生きに挑戦します。

私は感激屋で、様々なことに関心を持ち、感動する心があるからこそ、前向きな考え方ができ、魅力的な人間になれるのだと思っています。魅力的な人間とは人にいい影響を与えたり、人、社会のために尽くすことが出来る人であると考えます。人間は家族、友人、職場など誰かの役に立っていると実感したり、それを認めたりした時、満足感、幸福感を味わうことが出来るということだと感じます。「素晴らしい人生を長く送られるよう努力したい」ということである。夢は生命力の根源です。自信と誇りとは、「生きる」ことが素晴らしいと思う心であると私は確信します。

夢と希望には幾つになっても不変でありたいものです。時代、時代で新しい風が吹くように、同窓会、修養会の在り方も変わってきています。過去から学びながら、同窓会の在り方と我がセラ友会20周年を迎える活動を行う中で汗を流し事務局、役員が一丸となって次の世代に託せる布石にする所存です。

学校関係者、地域の方々に理

# 破顔一笑

解を深めながら偉大なる先人者、先輩御諸兄に感謝しつつ一日一日を大切にしていきたいと思います。

以上

## 朝の楽しみ

近藤 信行  
(昭40E卒)



私の一日は、小学生の登校時の交通安全をかねた見守りから始まる。朝日をあびていつもの交差点にたどり着く。しばらくすると、「お早うございませす!」と元気のよい小学生の集団登校グループが次々とやってくる。元

気にハイタッチをして、私の持っている横断中と書かれている黄色い旗をさわってハツラツと行く子。1年生の時は集団登校が二ガテで親が付き添わなければ行けなかった子が、2年生になると楽しそうに集団登校している子。雨降りでも傘を差さないで平気な顔をして行く子。かすかな声で「お早うございませす」と返事をする子。いつも最後尾でノロノロして決して急がない、5人組グループ。

どの子も一人ひとり個性があつて、興味深く、将来が楽しみだ。今年3月、卒業式の前日に各グループから「いつも見守り、ありがとう」「これからは体に気をつけてガンバッテ」「声をかけてくれるので、元気に学校に行けた」など、率直で純粹無垢な感謝の気持ちが入められたメッセージをたくさん頂戴し、大いに感激した。

太宰治の言葉に「大人とは裏切られた青年の姿である」とあるが、あまりにも現実的で悲しい言葉だ。それよりも、各人が豊かな個性を生かし、たくましく成長し、「新しき世紀を創るのは、青年の熱と力である」と

いった先哲の言葉のように、次代を担う青年に育ってほしいと思っている。そんなことを夢みながら見守りを続けて行きたい。

## 天寿を全うした会工 売店のおばさんのこと

渡部 昭寿  
(昭34E卒)

私が市の議員をしていた頃、ひよつとした機会に、当時水道部職員だった天野恵子さんと話し合う機会に恵まれたことがあった。その時の会話で、恐らく私の選挙パンフなどが目に入っていたのか私が会工卒業生であることを知っておられて、「実は私の母(佐藤ミツ子さん)は会工高の売店に長年勤めていたのです」というお話を聞きすることが出来ました。しかしその後しばらくの間は、天野さんとは顔をお会いするたびに「お母さんはお元気ですか」などという、通りいっぺんのあいさつをする程度で経過しておりました。

そんなある折り今年に入つて、知人の葬儀式が何かの会場でバツタリ天野さんにお会いした際、「渡部さん、実は私の母が昨年夏に亡くなつてしまったのです」とのお話をお聞きして

びつくり致しました。急いでご焼香にでも……と思いつつもままならず、ずい分間をおいて夏に入ってからようやく金川町にお住まいの天野さん宅にお伺いしてきました。その結果、判明したことの要点は

①亡くなったのは平成29年8月5日。享年100才7ヶ月の天寿全うの大往生だったこと。



②売店の出発は夜間高の二高が先だったこと。

③その後、会工側の要望もあって電気科近くの廊下西側に移動した。以降30数年継続されたはずというのが天野さんの記憶でした。

売店のおばさんこと、佐藤ミツ子さんは仕事をやめられたあととも2人の子供（天野さんとそのお姉さん）や孫やひ孫さん達にかこまれながら元気でおだやかな余生を送って来られた――

というのが天野さんのお話でした。



さて、私の年代（77才）の生徒（33E時代）にとつて忘れがたい思い出と言えは在学中汽車通の仲間連中は大抵は早弁（1〜2校時でペロリ）が通常でしたから、昼のブザーと同時に売店のおばさんめがけて駆け込んでパンと牛乳をゲットするというのが常だったように思います。この光景は売店の向い側にあった文芸部室でながめていてこつぱいそのもので、今でも脳裡をはなれません。

私も母校を卒業して早や半世紀、今日（30・9・17）は市の敬老会に出席したあと、ガラにもなく原稿用紙などを出して頭をひねり佐藤ミツ子おばさんの霊が安らからんことを念じつつ、また天野さんご一族のご健勝をご祈念申し上げながら雑文のペンをおく次第です。

（合掌）

### 県マスターズ駅伝 初優勝

高橋 誠 (昭60E卒)

県マスターズ駅伝とは、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代の5名でチームを組んで、1人4キロを走り、襷を繋ぐ駅伝のことです。この大会は、毎年9月の敬老の日に、あづま運動公園で開催されています。この駅伝で常に優勝しているのは、高校時代の強豪校である日大東北高校と田村高校です。我々の会津工業高校は、30数年前には全国高校駅伝にも出場する古豪でありました。

この時の陸上競技部員が中心（50歳代）となり、2016年の第12回大会に参加し、入賞は逃したものの、久々に駅伝の醍醐味を楽しみました。その結果から、2017年の第13回大会には、日大東北高校や田村高校に勝つため、湯田哲郎監督（S56D）の下、現在も現役として各種マラソン大会などで走っている方を集め、優勝を狙うBチームと、楽しんで走るAチームの2チームで参加しました。



レース展開は、優勝を狙うBチームは、1区（20歳代）の一重嶺太選手（H21F卒）が区間2位の激走で、2区（40歳代）の五十嵐由次選手（H5E卒）へ襷を繋ぎ、五十嵐選手で先頭に立ちました。3区（50歳代）の高橋誠選手（S60E卒）が区間賞の走りで見逃しの差を広げ、4区（30歳代）の山口太陽選手（H17M卒）が更に後続を引き離しました。5区（60歳代）はアンカーの安田選手（助っ人）で追いつける日大東北高校を何とか振り切り、強豪校の2校を破り、初優勝しました。

また、駅伝を楽しむAチームは、1区の瀬谷隆治選手（S58L）、2区の佐藤勝弘選手（S58C）、3区の渡部新一選手（S57A）、4区の真部誠選手（S59M）、5区の猪股隆行選手（S50L）が襷を繋ぎ、入賞は逃したものの、13位でゴールしました。

この駅伝へ参加するため、昔のユニフォーム（白、赤）のレプリカ版を作成し、昔を思い出しながら、あづま運動公園内を走りました。これからも、会津工業高校OBチームが、常に優勝に絡めるよう、定期的に親睦を図りながら、皆で頑張ってくださいと思います。

以上

### これからの自分

早川 茂 (昭46A卒)

私は昭和46年3月に現在の東海会工会の会長である、三井正春氏の紹介で愛知県刈谷市の建設会社に就職しました。そして平成29年10月に65歳を迎え47年間勤務した現在の会社を退職しました。退職当時から半年くらいは何もせずボヤツと自由に過ごすつもりでいました。

8か月も休むと世間の目が気

# 迅速果断

になりだし、何か仕事をしよう  
とハローワークに通い就職活動  
をしている最中に前の会社から  
仕事の話があり、即座に引受け  
る事にしました。仕事の内容は  
従業員休日の現場管理代行で  
す。管理代行と言っても留守番  
程度です。仕事としては以前ま  
ですつとやっていた事なので、  
全然抵抗なくやれると思いまし  
た。月に10日程度の勤務でキッ  
ク仕事ではないので、出来れば  
70歳ぐらいまで頑張りたいと思  
っています。機会があれば若手  
社員の指導教育もしたいと思っ  
ています。

私も今年から年金生活です。  
会社退職後約8か月ずっと無職  
です。当然収入はありません。  
大好きなゴルフ、毎日の晩  
酌、僅かな小遣いをもらうたび  
に気を使う毎日でした。仕事を  
始めてからは女房に気がね遠慮  
する事なく、毎日気楽な今日こ  
の頃です。

私は退職して約9か月ほどに  
なりますが、健康面では、お陰  
様で問題なく過ごしています。  
毎日殆ど犬の散歩程度の軽い運  
動しかしていません。退社後は  
特に体力が落ちたと実感してい  
ます。人間は足腰から衰えてい  
くと、よくいわれています。健  
康であるから好きなゴルフ、毎  
日の晩酌、遠出のドライブが出



来ると思っています。これから  
は体力アップを意識して、健康  
管理に注意していかねければな  
りません。具体的には足腰を鍛  
えるための、ジョギング、ゴル  
フ練習、ゴルフプレー中のカー  
ト乗用禁止。毎日のラジオ体操  
の実施。これらが出来れば体力  
アップは間違いない。継続する  
のは大変難しい事です。地道に  
努力して行かなければならな  
い。当面の目標は給与を貯金し  
て、前から欲しかったマウンテ  
ンバイクを購入して遠出を実現  
したいです。「健康第一」で第  
二の人生を謳歌したいと思っ  
ております。

## 今年度受賞・活躍された先輩

### 昨年度秋の叙勲

#### 危険業務従事者叙勲



平成29年10月7日付 福島民友  
星 六郎(昭41K卒)

◇瑞宝双光章  
星 六郎さん 71  
福島市田沢  
元喜多方署長

「地域の皆さんをはじめ同僚  
や家族の支えのおかげでスムー  
ズに仕事が出来た。感謝の気持  
ちでいっぱい」と受章の喜びを  
語る。

本署で夫妻の宿泊先の警備を統  
括し、24時間態勢で業務に当た  
った。福島の北署副署長、教養  
課長、会津坂下署長などを歴任  
した。

「地域の皆さんをはじめ同僚  
や家族の支えのおかげでスムー  
ズに仕事が出来た。感謝の気持  
ちでいっぱい」と受章の喜びを  
語る。

本署で夫妻の宿泊先の警備を統  
括し、24時間態勢で業務に当た  
った。福島の北署副署長、教養  
課長、会津坂下署長などを歴任  
した。

### 後輩の活躍に期待

### 昨年度 県文化功労賞



「種は力なり」だと実感している」と話す折笠さん

#### 美術 折笠光助さん

「先輩方の指導のおかげで  
続けてこられた。『継続は力  
なり』だと実感している」と  
感謝する。

会津若松市出身。家業を継  
ぐため漆芸の道に入り、郡山  
市に「折笠うるし工房」を開  
いた。会津塗を出発点に乾漆  
の技法や、金箔と漆を何重に  
も重ねる手法など、美しさと  
実用性を兼ねた独自の漆器  
作りに取り組み、日展では「  
たい」と意欲を見せる。

### 工夫重ね独自の漆器

平成29年10月12日付 福島民友  
折笠光助(昭33L卒)

# 今年度受賞・活躍された先輩

## 昨年度秋の叙勲

### 埜の中高一貫教育推進

☆瑞宝小綬章  
ぐんじ またか  
郡司 正孝さん 77  
郡山市富田町



「苦勞を共にした家族や先輩や同僚のおかげ」と感謝を口にした。日大東北工（現日大東北高、日大第二工学部（現日大工学部）卒。一九六四（昭和三十九）年に県教諭となり、埜中高で会津工高で校長を歴任し、現在、定年退職後は二〇〇一（平成十三年）年から七三年三月、埜町教育長を務め、埜中と埜工高の連携型中高一貫教育を推進するなどした。

平成29年11月3日付 福島民報社

### 市町村合併実現に奔走

☆旭日双光章  
ささち よしゆき  
佐藤 義之さん 70  
会津若松市神指町



工高卒。一九九五（平成七）年、同市議に初当選した。二〇〇五年から二〇〇七年までは議長を務めた。平成の大合併に伴う旧北会津村、旧河東町との合併実現などに奔走したことが強く記憶に残っている。「市民の意見を真剣に受け止め、市の発展に貢献してほしい」と古里の将来を担う後輩議員たちへの活躍を願っている。

平成29年11月3日付 福島民報社  
佐藤義之（昭42M卒）

## 春の叙勲

### ◇監査長章

五十嵐 幸夫さん 54  
猪苗代町川桁  
猪苗代町消防団長

「これまでこれたのは家族や先輩の力があつたから」と喜ぶ。猪苗代町出身。会津工高卒。

1986（昭和61）年に消防団に入団、2017年から団長を務める。団員不足に直面する現状には「これからは階級にとらわれず、団員同士が同じ目線に立って意識を一つにしていくべきだ」と語る。

五十嵐幸夫（昭54K卒）

### 盗難の国重文奪還携わる

#### ◇瑞宝双光章

秋山 喜秀さん 71  
警梯町警梯  
元会津若松署地域庶務係長

「刑事一筋30年。苦勞を掛けたが、妻をはじめ家族のおかげ」と感謝を語る。警梯町出身。会津工高卒。



1967（昭和42）年採用。主に刑事畑を歩み、凶悪事件の解決に挑み続けた。「盗まれた、盗まれた、恵ていた、恵ていた、重要文化財・白銅三日月寺の国指」

平成30年4月7日付 福島民友  
秋山喜秀（昭42A卒）

### 今も警察官としての誇り

#### ◇瑞宝単光章

板橋 聡さん 71  
会津若松市門田町飯寺  
元高田署新鶴駐在所専門官

「仕事を続けてきて良かった」と受賞を喜ぶ。会津若松市出身。会津工高卒。1970（昭和45）



に採用。25年間、刑事畑を歩んだ。「事件解決までの過程が大事。事件に大きい小さいもない」と持論を語る。「組織にとって必要な人間であれが信条だった。警察官としての誇りは今でもある」と胸を張る。

平成30年4月7日付 福島民友  
板橋 聡（昭40T卒）

# 今年度受賞・活躍された先輩

## 春の叙勲

### 後進育み会津塗守る

☆瑞宝章  
 曾根 賢治さん77  
 会津若松市大町



「会津塗の技を継承した。おわんなどの塗師と産地を活性化するため、して商品の量産化に取り伝統工芸士を増やした組んだ。一九七八年に社い」。会津塗伝統工芸士長に就任し、二〇〇八年平副会長として、これが成二十一年から会長を務らも後進の育成に力を注ぎ考えた。

会津若松市出身。会津工高を卒業した一九六一日々が続く。

平成30年4月29日付 福島民報社  
 曾根賢治(昭36L卒)

### 英語診断で学力向上

☆瑞宝双光章  
 曰下 幸雄さん70  
 会津若松市門田町



英語教諭として単語力習得に向けた「英語診断カルテ」を作るなど生徒の学力向上に奔走した。「子どもたちの進路を現させたい一心だったと振り返る。

会津若松市出身。会津工高、福島大教育学部卒。

一九七二(昭和四十七)年、県教諭採用。昭和、若松五両中学校長などを経て二〇〇八(平成二十)年、若松二中校長で退職した。県中学校長会会津支会長を務めた。

生徒と心が通い合う指導を大切に。「同僚や家族らの支えに感謝したい」と話している。

平成30年4月29日付 福島民報社  
 曰下幸雄(昭41E卒)

### 若松で25年間郵便配達

☆瑞宝章  
 いがらし よしかつ  
 五十嵐 芳勝さん65  
 会津若松市門田町



工高卒。一九七二(昭和四十七)年の採用から約二十五年、会津若松郵便局で配達に当たった。日本郵便福島支店第一集配営業課上席課長で退職。

「受章は考えておらず驚いている。周囲のサポート、応援のおかげ。

平成30年4月29日付 福島民報社  
 五十嵐芳勝(昭46T卒)

## 鶴ヶ城鉄門に紋幕

# 鶴ヶ城鉄門に紋幕

## 若松の安藤染店が寄贈



福島民報社 安藤昭男(昭35T卒)

室井市長に目録を手渡す安藤社長(右)。後方が寄贈した紋幕



# 今年度受賞・活躍された先輩

## 講演会開催

若松商高同窓会（斎藤共子会長）は26日、会津若松市のルネッサンス中の島で講演会を開いた。会津藩校日新館長の宗像精さんが講師を務め、会津人としての思いを語った。

宗像さんは昨年、会津藩と戦った長州藩があった山口県萩市で講演し「仲良くしよう。だが、仲直りほできな」と語った。発言の意図について、宗像さんは「歴史は消すことはできない



先人への思いを語る宗像さん

## 日新館長思い語る

「仲直りすれば史実がなくなる。そうなれば薩長との絆も浅くなる」と力を込めた。

昭和十一年の夏、日新館長宗像精さんは、会津藩校日新館の歴史を語り、先人への思いを語った。

戦前の国定教科書に、西軍を「官軍」とする表記があり、会津藩をさげすむような表現があったことも紹介。こうした教科書を読まざるを得なかった明治時代以降の先人たちの気持ちを推し量るよう促した。

講演会の後、総会が開かれ、本年度事業計画などを決めた。

宗像 精(昭26L卒)

## 文部科学大臣賞・漆芸展

### 漆芸 多彩な技法光る

若松の坂内さん 20日まで個展



いわき

味わい深い色合いの作品を展示している坂内さん

日展会友で喜多方市出身、会津若松市在住の坂内憲勝さんの漆芸展は二十日まで、いわき市泉町のギャラリー「アートスペース泉」

で開かれている。「研ぎ出し時絵（まきこ）」や貝殻を使う「螺鈿（らでん）」など多彩な技法を駆使し、四季の花鳥風月を表現したオブジェやパネル絵約六十点を展示している。伝統に独自の技法を加えて立体感と味わい深い色合いを醸し出した作品が並び、来館者がじつくりと鑑賞している。

坂内さんは二〇一五（平成二十七）年まで会津漆器技術後継者訓練校で若手の指導にあたり、日展で二十九回入選するなど多くの作品展で入賞した実績を持つ。いわき市での個展は初めて。

時間は午前十時半から午後六時（最終日は午後四時）まで。木曜定休。問い合わせはアートスペース泉 電話0246(56)9101へ。

平成30年3月12日付  
坂内憲勝(昭51L卒・昭53D卒)

## 最優秀賞（県知事賞）受賞

### 東海堂アド工芸知事賞

屋外広告美術 民友賞ホシトモ看板



県屋外広告美術協同組合（大戸邦男理事長）の第46回県屋外広告美術展は7日、会津若松市の鶴ヶ城三ノ丸駐車場が始まった。写真。9日まで。初日に審査が行われ、東海堂アド工芸（会津支部）が最優秀賞（県知事賞）を受賞した。優秀賞の福島民友新聞社長賞にはホシトモ看板（相双支部）が選ばれた。

屋外広告物の制作技術向上などを目的に7支部の持ち回りで開かれている。「ふくしま」がテーマで、各支部の屋外広告業者が計56点の作品を出展した。県立博物館専門学芸員の小林めぐみさんが審査員を務めた。上位5点は、22、23の両日、山形県米沢市で開かれる第41回東北6県公共キャンペーン作品展に出展される。

9日午前10時からは、先着100人を対象にした似顔絵コーナーが設けられる。受賞者次の通り。（カッコ内は支部名）

- ◇最優秀賞 ▽県知事賞  
東海堂アド工芸（会津）
- ◇優秀賞 ▽県職業能力開発協会賞  
アルス・プロGRESS（郡山） ▽日広連会長賞  
原町サイン（相双）
- ▽県技能士会連合会長賞  
芸プロ（福島） ▽東北地区連会長賞  
東北エスピー

長谷川利彦(昭41K卒)

# 母校だより

## 歴史と伝統と未来の会工

教頭 厚海 肇



同窓会の皆様には、本校の教育活動に際しまして多大なるご支援とご協力をいただき誠にありがとうございます。

私は今年四月に歴史と伝統ある会津工業高校に着任いたしました。着任式では、応援団のリードで全校生徒による、校歌と応援歌で迎えられ、その時の感動は今もはっきりと覚えております。素晴らしい、全校生徒が一丸となって、校歌、応援歌を誇らしく歌っている。やはり歴史と伝統ある会津工業高校だと実感いたしました。私も生徒たちの気迫に負けまいように一生懸命に取り組まなければならないと決意を新たにいたしました。

さて、本校は明治三十七年に「福島県立工業学校」として開校し今年で創立百十六年目をとる県内一歴史のある工業高校です。これまで多方面にわたり優秀な人材を輩出し、その活躍は顕著で素晴らしい実績があります。その歴史と伝統に負けぬよう私たち教職員と生徒は一丸となって、県内一の工業高校を目指して頑張っております。また、私たち教職員は多様化した時代の変化に対応すべく常に資質向上に努め時代に即した教育を推進しております。

いつの時代においても、生徒が自ら考え行動できる「生きぬく力」を育むことが私たちの使命です。しかし、教職員だけではそれは成し遂げられません。同窓生の皆様には、歴史と伝統を守りつつ新たな躍進に向けて、「未来の会工」のために、今後とも相変わらぬご指導とご支援、ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

## 進路指導部から

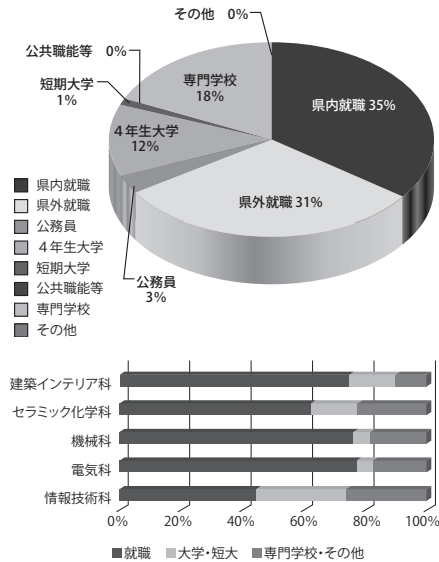
主任 菅家 慶広



同窓生の皆様におかれましては日頃の本校の教育活動、または在校生への支援に対しまして改めて感謝申し上げます。

今年度の進路状況をまとめましたのでご覧下さい。さて今年度も本校受付の求人数は昨年度に引き続き、ほぼ1000社を超えました。「ぜひ会工の生徒が欲しい」とあるいは「会工にしか求人を出さない」という企業がとても多い状況です。求人受付前でも多くの企業の方々が来校されています。今年度は1回目の採用試験で内定をいただいた生徒は昨年度よりやや下がったものの90%以上となり、高い水準を維持しています。不採用だった生徒も気持ち切り替えて次の目標を決定し、再受験に臨みほぼ2回目の採用試験で合格を勝ち取りました。早くから保護者に皆様の理解を得ながら3年生が自分の将来を冷静に設計・判断し、それに向けてしっかりと

グラフ1 平成29年度卒業生進路状況



グラフ2 平成29年3月卒業生の進路状況 (科別)

準備や企業分析を行った結果だと思えます。そして2学期中に全員が内定をもらうことができました。これほど早く決まるのは近年にはないことです。最近では大幅に採用数を増やす地元企業が年々増加し、様々な産業界、行政において「優秀な若者の県外流出を防ごう!」というムードが高まっています。そのような動きもあり、本校でも地元就職の割合が最近増えているようです。ただ相変わらず会津工業高校は歴史的に県外就職者多いというイメージが強く、県外企業からの本校生への強力なアプローチが未だ絶えません。技能職採用のみだった企業が技術職・研究職で採用するケースもさらに増えてきており、学歴重視ではなく実績重視という企業も増えてきます。製造・建設分野などかつての「男の職場」であった企業も労働条件・勤務形態の見直しや施設設備の更新を行うなどして今後は女子の採用も増やし、女性が働きやすい職場環境の整備を考えている企業も少なくないのが最近の特徴です。

大学進学に関しては今年度については、国公立大学は会津大学3名、同短期大学部1名、山形大学工学部1名合格と検討しました。とは言え国公立大学のハードルは本校生にとっては未だ高いものとなっています。今年度も工学部系の大学は多くは指定校推薦で合格しています。

公務員は福島県警3名、陸上自衛隊曹候補生3名、そして久しぶりに国家公務員(防衛省)合格者が1名出ました。本校生に人気の消防官については未だ狭き門になっています。

最後になりましたが同窓生の皆様には引き続き各地区会工会・各科OB会・職域会工会など様々なネットワークを通じ、今後も若き後輩達の輝かしい未来のために厳しくも温かいご支援・ご指導をお願い申し上げます。

## 30年度新入生



1学年主任 大原 満

入学当初、これから始まる高校生活に  
対し、新たな希望に  
胸膨らませ、中学校までとは環境が違う  
ことに、違和感を持ち、多少の不安もあ  
る中で、われわれ担任一同は、子供たち  
がよい環境で学校生活を送れることを願  
いつつ、しっかりと見守りながら教育活  
動を行っています。

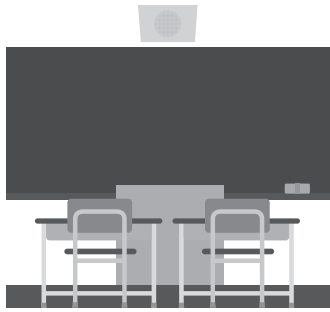
生徒は、1学期からこれまでの行事、  
(校歌応援歌練習指導から始まり、様々  
な健康検査、生徒総会、高体連地区大会、  
中間考査、高体連県大会、科ごとの工場  
見学、期末考査、球技大会、夏休み、各  
種資格検定試験等)初めての高校での  
様々な行事に参加して来ました。極度の  
緊張感の中で全く中学校とは異なる体験  
だったと思います。特に今年の夏は、猛  
暑と言うよりは危険な暑さが続きまし  
た。生徒は、熱中症になりながらも勉強  
には励んでいる姿は、心が痛みました。  
工業高校としてエアコンがないのは仕方  
がないかとは思いますが、それでも大変  
な暑さの中での活動は、辛かったと思  
います。

1学年の目標は、1つは、基本的生活  
習慣の確立を基本に人の話を誠実に聞  
いて適切な判断で行動できる態度を養う。

2つ目は、学習意欲の向上をはかり進歩  
できるだけの基礎学力をつける。早期に  
進路意識の高揚です。早期に進路希望調  
査を実施し、それに応じた個別面談や進  
路ガイダンスを充実させ、資格取得に積  
極的に取り組ませるようにすることを目  
標としています。

生徒は、まだ高校生とは言えない我が  
儘で人任せで自ら行動をすることができ  
ない面が多々ありますが、元気で間違え  
たことを潔く認め、改め、向上してい  
くとする精神があります。

学力を含め生徒の健やかに成長するこ  
とを目指して行きたいと思えます。今後  
とも母校へのご支援・ご協力をお願い致  
します。



## 頑張れ2年生



2学年主任 岩沢 巖

3年間の高校生活  
もいつの間にか折  
返し地点まで来てし  
まいました。本当に早く感じる今日この  
頃です。ついこの間、2年生に進級した  
かと思うともう夏休みです。このままで  
いくと、卒業もあつという間に迎えられ  
そうでもありません。

中だるみの2年生とよく言われます  
が、今年の2年生も例外ではなく、1学  
期成績不良科目を所持している生徒は、  
例年の倍以上いました。とても残念で  
す。今まで赤点が多かったのが「このく  
らいで大丈夫だろう」という甘い考えで  
日頃を過ごし、考査期間中も遊んでし  
まったり、提出物の未提出などは「たぶ  
ん赤点にはならないだろう」という自分  
勝手な判断で行動をしてしまったのが原  
因のようです。日ごろの勉強はともか  
く、考査前の勉強は全力で行ってもらい  
たいものです。提出物も催促される前に  
期日を守って提出するようにして欲しい  
です。生徒指導面では、今のところこれ  
といった特別指導もなく順調です。この  
まま卒業まで0人ならばいいと願ってい  
ます。

2学期は、2年生にとって行事が目白  
押しです。まずは、10月上旬に行われる

インターシップです。3日間という短  
い間ですが、自分の進路について真剣に  
考える時期にしてみたいと思います。  
会工同窓生が経営または勤務する職  
場に体験をしに行く場合もあるかと思  
いますが、その際は、ご指導のほどよろ  
しくお願いいたします。インターシッ  
プが終わるとすぐに3年に一度の会工祭が  
あります。中堅学年ではありますが、上  
級生に負けない催し物を披露して欲しい  
と思います。10月下旬には修学旅行で  
す。関西方面(京都、大阪)を中心に行っ  
てきます。旅行先の歴史、文化、芸術、  
風土、言語等についての見識を深め、ま  
た、団体行動の中で、規律ある生活態度  
を養い、さらに、高校時代の楽しい思い出  
をつくり、生徒同士の親睦を深めて欲  
しいと思います。

最後になりましたが、諸先輩方の様々  
な場面での応援を今後もよろしく願  
いたします。

# 母校だより

# 母校だより

## 高校卒業に向けて、自信から湧き出る美しさに期待



3 学年主任 洪川 順一

早いもので、この原稿を書くのも3回目になりました。担任として最後になり

ます。高校生活は、長い人生のほんの3年間に過ぎません。しかし、この3年間はこれからの長い社会生活の土台となる大切な時期なのです。家庭で家族から受けた教育は、これから生活

友人との会話を思い起こしてください。話す前に、ある程度予想できますよね。怒っているのか、楽しんでいのか。つまり、考えが表情に必ず現れるものなのです。それが10年・20年と経るごとに自分の顔になるのです。親から受け継いでもものでない、自分が作りだした、自信から湧き出る美し「顔」をこれから作っていかねばなりません。

するに必要な基本事項が主なものでした。トイレの習慣、歯磨きの習慣、食事の習慣・作法、あいさつ、言葉遣いなど本主に個人として生きていくための最低限身に付いていないと自分が困るものでした。多くの生徒諸君が間違いなく身に付けて最初の社会生活である小学校に入學したはずで、一方、学校生活では、基礎的な知識を身に付けるのと同時に、社会が決めたルールやマナーを学校生活を通して身に付け、それが友人に良い影響を及ぼすように、他にどう接したらよいか考えることができるようにならないければなりません。友人のために行動することができれば、自然と社会のためにどのように対応すべきかできるようになります。「情けは人の為ならず」必ず自分に返ってきます。それが本人の自信となり、表情に自然と湧き出る美しさが現れてくるのではないのでしょうか。親から受け継いだ遺伝子による顔かたちは、本人に少なからず影響を与えます。しかし、それも初期の段階だけで、これから20代・30代と経るにしたがって、自分のものの考えが自ずと表情に現れ、否応なく他に分かるものなのです。

昨年度は、生徒が参加したオリンパスの企業体験での話をしました。オリンパスでの閉会式で、やり終えた生徒諸君の「笑顔」のすばらしさのお話をしました。目標を持ち、それに向けて努力した結果得られたものは、やり終えた達成感があり、自然に人を笑顔にするという話です。日々生活している中で、何ら目標を持たずに「楽しければいい」という生活をしている「笑顔」とは異なる「笑顔」に自然になるためには、周囲に気づかれないを自然にできることが大切であると思います。これから、社会に出ていくフレッシュマンよ、まずは自分のできることを黙々と頑張らなさい。その頑張りは必ず周りから見えます。そういう人の意見は、自然周囲に認められます。自然と美しい顔になります。逆はダメですね。文句は言うけど、やらない人たまに見受けられますが、周囲から意見を聞いてもらえません。幸いにも、我が会卒業生は、全員前者です。OB・OGの皆さん、社会に出ていくフレッシュマンを温かく見守ってください。

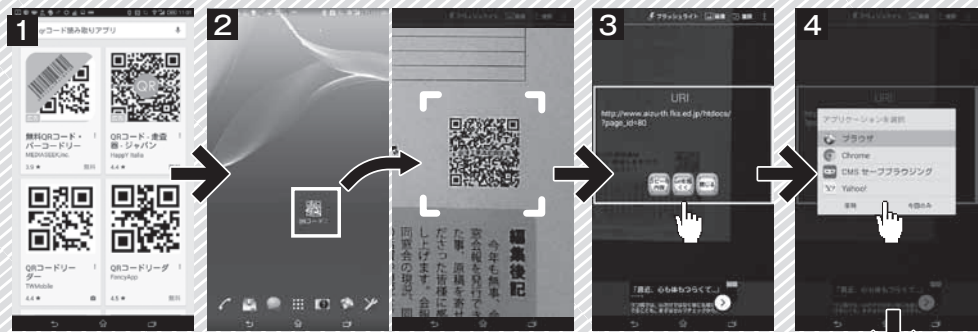
投稿用メールアドレス [kaikoudousoukai@agate.plala.or.jp](mailto:kaikoudousoukai@agate.plala.or.jp)

### 同窓会ホームページ開設

スマートフォンからもご覧になれます



QRコード



(手順)

- ①お手持ちのスマホにQRコード読み取りアプリがなければ、iPhoneは「App Store」から、Androidは「Google play」からインストールしてください。
- ②QRコード読み取りアプリを開きます。画面内に大きな四角の枠が表示されるので、枠内に収まるように上記QRコードを映してください。
- ③正しく読めると、コードに埋め込まれたURLが表示されます。
- ④URLを開くを選択しますとブラウザ選択画面が表示されますので、好みのブラウザを選択してください。
- ⑤同窓会関連連絡を選択します。
- ⑥同窓会一覧に入りましたら見たい項目を選択してください。

松江賞

建築インテリア科

渡部大地



機械科

木村翼



建築インテリア科

舟木梓紗



機械科

安西一樹



セラミック化学科

佐藤彩也音



電気科

千葉彩斗



セラミック化学科

五十嵐果南



電気科

矢部智也



機械科

阿部直希



情報技術科

松田直也



機械科

渡辺剛司



情報技術科

星優哉



同窓会賞

「松江賞」「同窓会賞」受賞!!



# 平和の覇者を育みぬ。

校歌から

## 学び舎 ロケーション ① 専門課程は、いま。



### 建築インテリア科

主任 長谷沼 徹  
日頃より、同窓会の皆様方にはご支援とご協力を頂きありがとうございますとございます。社会に貢献できる建設産業人材の育成を目指して、在校生が益々活躍できるように、今後とも本科の教育活動に皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、平成30年度人事異動により、1年生の担任だった黒澤静子先生が福島工業高校定時制へ転勤となりました。代わって、勿来工業高校から佐藤聖先生が転入され、2年生の担任をお願いしました。また、実習で初任だった星明宏先生が勿来工業高校へ転勤し、代わって、郡山北工業高校から飯塚誠先生が転入され7名のスタッフで今年度がスタートしました。

【建築インテリア科職員】  
長谷沼 徹 (科主任)  
寺島 弘幸 (建築インテリア科3年担任)

菅家 慶広 (進路指導主事)  
佐藤 聖 (建築インテリア科2年担任)  
高橋 弘光 飯塚 誠  
利根川 真美香

【クラス関係】  
◆3年  
担任 寺島 弘幸  
副担任 鈴木 美枝子(英語)  
◆2年  
担任 佐藤 聖  
副担任 井関 有紀子(国語)

◆1年  
担任 日出山 亜希子 (国語)  
副担任 長谷沼 徹  
以上、クラス担任、副担任を合わせると10名で構成されております。

【今年度の進路状況】  
生徒の状況ですが、3年生38名(男子19名、女子19名)、2年生40名(男子18名、女子22名)、1年生40名(男子30名、女子10名)で、科全体では、男子67名、女子51名となりました。

今後、女子生徒の進路先の確保が課題となります。

今年度の進路希望状況ですが、担任の寺島弘幸先生のきめ細かな指導により、就職希望者が24名、進学希望者が12名となっております。

		男子	女子	合計
福島県内	建設業	2	3	5
	その他	0	5	5
福島県外	建設業	8	4	12
	その他	0	2	2
進路未定		1	1	2
大学専門学校	建築系	5	0	5
	建築系その他	1	1	2
		2	3	5

今年度の求人においては、昨年同様に建設関係企業の人材確保などの需要で好調です。管内企業においても例年になく求人数が伸びておりますが、希望通りの人材確保ができていないのが現状です。国土交通省の「女子力を活かせば伸びる建設業」「カッコイイ!女性が輝く建設業!」のポスターもありました。今年度は例年になく女子生徒が多数建設業を希望しております。来年度以降もこの傾向を継続するとともに、県内希望者を増やしたいと思っております。

【昨年度の活躍】  
全国工業高等学校長協会ジュニアマイスター顕彰制度において、特別表彰1名(資格取得の上位8名の合計が、65点以上)

ゴールド 5名(資格取得の合計が、45点以上)  
シルバー10名(資格取得の合計が、30点以上)  
国家技能検定3級 建築大工 (大工工事作業)  
前期・3年生 10名合格  
後期・2年生 4名合格  
2級建築施工管理技術検定 21名合格

【同窓会の方々への感謝】  
今年度、6月22日(金)に開催された建友会定期総会・懇親会に於いて会長白井武男様と役員、事務局の方々の呼びかけにより、出席者から寄付金を募り、在校生の集まりである建築インテリア科修養会に5万円の寄付をいただき、建友会の方々に感謝申し上げます。課題研究の授業等で有効に活用させて頂きます。また、株式会社山口設計代表取締役社長山口一男様より、前年度に続き、建築雑誌を寄贈して頂きました。感謝申し上げます。

同窓生の皆様方の期待に答えられるように、一人でも多くの生徒が地元への建設業への就職し、貢献できるよう努力していきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



### セラミック化学科

主任 石崎 晃  
本校セラミック化学科は、地域の産学官と連携し、地域社会と復興に貢献できる人材の育成を目指し、日々の教育に励んでおります。会工同窓会の皆様には、科の教育活動にご理解とご支援をいただき感謝申し上げます。本年度も、よろしくお願いたします。

さて、昨年度末の人事異動により、長く本校に勤務していらっしゃった村田光夫先生がご栄転しました。その代わりに小高工業高校から佐藤洋子先生と足利工業高校から佐々木重人先生が新たに配属され、村山彰一、山野敏、大濱達明、佐藤伸也と石崎晃の新体制が始まりました。

〈生徒の状況〉  
クラスの在籍状況は次のとおりです。  
・1学年 男子25名、女子15名  
担任…大原 満  
副担任…村山彰一  
・2学年 男子20

7月	工場見学 (1年・2年) 34名合格 (3年)	セラミック能力検定	4月	科対面式、セラ友会花見	会津総合美術展出品	美里町お茶会	5月	福島県総合美術展出品	県展出品	工場見学 (3年)	セラミック能力検定	6月	工場見学 (3年)	34名合格 (3年)	セラミック能力検定	7月	工場見学 (1年・2年)	セラ友会定期総会	全国統一陶芸検定	初級7名、中級6名、上級2名合格	8月	会津本郷せと市陶祖祭	9月	陶祖祭	10月	ミニせと市(会工祭)	ものコン県大会(化学分析部門)	11月	市民美術展応募	外部講師招聘授業(1年)
----	-------------------------	-----------	----	-------------	-----------	--------	----	------------	------	-----------	-----------	----	-----------	------------	-----------	----	--------------	----------	----------	------------------	----	------------	----	-----	-----	------------	-----------------	-----	---------	--------------



- 12月 ろくろ技能検定講習会
- 1月 ろくろ技能検定  
陶磁器能力検定(1年)
- 2月 同窓会のセウ友会入会式  
卒業式
- 3月 卒業式

〈セラミック化学科の生徒の活躍〉  
・H29ものづくりコンテスト  
(化学分析部門)  
東北大会 優勝  
全国大会 準優勝  
馬場 愛生(2年)



・セラミック化学部(陶芸班)  
H30会津総合美術展  
青少年奨励賞

「紫炎」小柳 和真



H30県美展(入選)  
「碧明波」夏井 将剛  
「葦雷」小柳 和真  
「喜努哀楽」金谷 俊  
「散樹」新明 玲哉  
「百戦錬磨」本田 雅弥

## 機械科



主任 茂木 利幸

今年度の人事異動では、本校に4年間勤務された阿部友一先生が、福島工業高校(定時制)に転出。8年間勤務された佐藤文康先生が、喜多方桐桜高校に転出。代わって、新採用で古川高清先生と金子卓也が着任されました。また、新採用の時間補充のため、電気科から佐藤伸哉先生時間補充をお願いしています。それと4時間の座学を高橋教頭先生にお願いしています。そのため今年の機械科のスタッフは、15名でのスタートになりました。機械科は、本校の工業科の中でも、最もバランスのとれた年代構成になっており、素晴らしいスタッフであります。

担任は、1年生は1組武田秀幸教諭・2組佐野正司教諭、2年生は1組岩沢教諭・2組佐瀬和久教諭、3年生は1組山田賢教諭・2組齊藤雅夫教諭の6名でクラス経営にあたっています。機械科では、「ものづくりは人づくり」を科の重点目標に掲げて、教育活動にあたっております。ただ、最近、基礎学力の低下が顕著に見られるため、基礎・基本の定着と基礎学力の向上を図るべく、職員一丸となって取り組んでいます。

昨年から今年にかけての、機

械科の各種の取り組みや現状について簡単に報告させていただきます。

〈機械科の行事から〉  
・4月…新入生対面式  
機友会花見

・7月…同窓会機友会から機械研修部への激励金贈呈式  
ガス溶接技能講習会  
二級技能検定(普通旋盤)前期講習会及び試験

・9月…基礎製図検定  
・10月…会工祭、インターンシップ、修学旅行

・11月…ふいご祭  
・12月…三級技能検定(普通旋盤)後期講習会及び試験

・1月…機械科課題研究発表会  
・2月…同窓会機友会入会式  
〈進路について〉

昨年の進路状況は、就職が58名(内公務員3名)、四年生大学4名、専門学校14名の計76名単立ち、昨年も内定率100%を達成することができました。昨年も、多くの企業からの求人があり、生徒にとっては選択肢の幅が広く、担任として大変助かった年になりました。今年も多くの人があり内定率100%を目指して進路指導をしていきたいと思えます。しかし、近年問題になってきているのは、少子化により長男が県外就職を希望する例が多くなってきていることです。そのため、中には2年〜3年で会社を退社して地元に戻ってくるケースが見られる

ようになってきました。我々としても、進路決定の時には、保護者・本人に十分考慮させて決定しているのですが、結果的に企業に迷惑をかけてしまうのが現状です。今後は、企業の幹部には、ミスマッチの起こらない対応をしたいと考えています。〈各種大会での参加と活躍〉

○福島県高校生ものづくりコンテスト2017旋盤作業部門第3位 2年1組 増井さくら



国家技能検定普通旋盤2級受験練習

○ワールドエコノムープ2018(大潟村)  
総合21位、Jrクラス12位

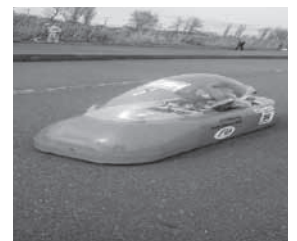
○ホンダエコマイレッジチャレンジ2017もてぎ大会  
グループII(高校生クラス第2位)、2人乗りクラス第4位

○本年度も参加予定  
○福島県高校生ロボット競技大会 予選敗退

○本田宗一郎杯ホンダエコマイレッジチャレンジ全国大会2016  
グループII(高校生クラス第2位)、2人乗りクラス第4位

○本年度も参加予定  
〈各種イベントへとコンテストへの参加〉

○ロボコンinあいつ2018



WE M電動カー大会参加

への参加と協力  
〈各種資格取得について〉

○機械製図検定試験、基礎製図検定試験、ボイラー二級国家試験、危険物取扱者試験、品質管理検定試験、パソコン利用技術検定試験、三級技能検定(普通旋盤)など、専門分野の資格に多くの生徒が挑戦して、すばらしい結果を残しています。その結果、ジュニアマイスター顕彰で表彰される生徒も多数でありますが、昨年度は、受賞者が大変少ない年になってしまいました。

〈全国工業高等学校長協会ジュニアマイスター顕彰〉

○ジュニアマイスターゴールド  
菅野遙矢(3M2)、木村翼(3M2)

○ジュニアマイスターシルバー  
小林優太(3M1)、荒木大河(3M1)、阿部直希(3M1)、波田海斗(3M1)、成田崇彰(3M1)、内藤大暉(3M2)、角田昂太(3M2)、庄子拓未(3M2) 以上8名

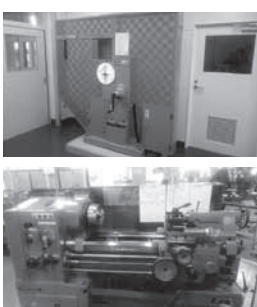
〈その他〉  
○昨年度搬入された機械  
・森精機株式会社 LEO6尺旋盤 の設置

・株式会社 東京衡機 シャル

ピー衝撃試験機 の設置

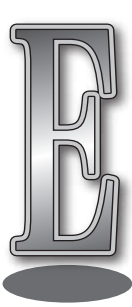
機械科は毎年新しい機械・更新された機械の搬入があります。設備も新しくきれいな環境のもとで、生徒・教員が一丸となって授業に取り組んでいきたいと考えております。

最後になりましたが、OBの皆様には、今後とも機械科に対して、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。また、毎年、同窓会機友会から機械研修部に対して激励金をご支援いただいていることに対しても厚く感謝申し上げます。



シャルピー衝撃試験機 設置  
森精機株式会社6尺旋盤設置

## 電気科



主任 井上 浩一

今春の人事異動により、佐藤直樹先生が平工業高校へ中丸淳先生が二本松工業高校へ、転任されました。また、担任を終え

られた佐久間智広先生が、本校情報技術科に異動されました。後任として、福島工業より鶴沼健吾先生が、新採用教員として鈴木大樹先生に、齋藤啓先生、佐藤伸哉先生にご着任いただき、電気科教員は7名体制になりました。

担任の先生方を紹介します。1年担任が齋藤辰也先生で、担当教科は保健体育、2年担任は片寄悦広先生で、担当教科は世界史であります。3年担任は渋川順一先生で、担当教科は理科・学年主任になります。

昨年・平成29年度電気科の活動状況をお知らせいたします。

1 H29就職・進学について  
就職希望者31名中、県外企業に20名、県内企業に9名、公務員に2名の内定を頂きました。電気科卒業生ならびに同窓生の活躍により県内外から多くの求人を頂いている結果、順調に進路を決定することができました。

進学希望者9名中、4年生大卒に2名、専門学校に7名となっております。

2 H29発電所見学  
1年生 東新潟火力発電所  
2年生 柳津西山地熱発電所  
第二沼沢発電所

電気科では、高校在籍中に、火力発電所見学・水力発電所見学を通して、見識を深めることにしております。昨年度も、東北電力様のご厚意により、発電所見学を行うことができました。電気が身近なものであり大切なインフラ設備であることを生徒一人一人が感じ取ってくださることを期待しています。

3 H29資格取得状況について  
第2種電気工事士資格試験に、1年生22名、2・3年生33名の25名が合格しました。

学年末での第2種電気工事士取得率は下記の通りになります。

1年生56・41% 2年生74・35% 3年生92・5%

平成23年度より、新入生全員に第2種電気工事士前期試験を受験させております。上級学年での充実した活動を考慮して、1年次からの受験としております。

1学期は、ほぼ毎日電気工事補習授業を行っており、1年生と接する機会が多くなることで、生徒との距離感が近くなることを日々感じ楽しく取り組んでおります。

しかし、近年、合格率が伸び悩んでいることもあり、取り組みに対して検証する必要性を感じております。

卒業までには、生徒全員を合格させたいと思っておりますので、生徒を温かい目で見守りたいだけだと思います。

上級資格である第1種電気工事士試験は、合格者2名となりました。今年度は3名の受験希望でありましたので、寺子屋方式なる個別授業で指導することができました。不合格となった1名は筆記試験が合格しておりますので、今年度、実技試験対策をしっかりと行って合格できると信じております。

電気科に在籍する以上、電気工事士資格試験を通して、電気に関する実学を身に付けてほしいと思っております。

いと思っておりますので、今後とも電気科ならではの電気工事試験講習会を継続していく所存です。

4 コンテストおよび外部行事について



福島県高校生ものづくりコンテスト「電気工事部門」に1年生の齋藤泰地君が参加し、見事に優勝し、今年度の東北大会の出場権を獲得することができました。

ものづくりコンテストとは、約2畳の大きさの木板に、家庭用電気配線の工事を行います。一例として、金属管をパイプベンダとよばれる器具で、半径90mmの円の曲線に曲げたり、3か所のスイッチでランプを点灯させる電気回路を、指定された電線で施工します。完成度、美観を競う技術競技となっております。座学とは異なり、感性の良さが必要となります。齋藤泰地くんには、東北大会でも、全力を尽くして頑張ってもらいたいと思っております。

5 さいごに  
今年のワールドカップサッカーの日本代表長谷部誠主将は、帰国会見で、日本代表への関心を薄まるのが怖かったと申しとおりました。日本代表主将でもそのような感情を抱くことに驚きを覚えました。

我々電気科の活動は、運動部活動のように大きな紙面で公表されることはなく、日々、地道に活動するものであり、関心を得ようと思うことはありませんでした。一般的に、電気に関心が無いのは、電気は目に見えず、社会生活の中で当たり前存在であるからこそ、関心云々ではない領域であると思うのです。しかし、学業に臨んでいる生徒たちからすれば、注目される領域であればモチベーションが上がるかもしれません。自分たちの組織を注目される存在にするという考え方に驚きを覚えまして。

同窓生の皆様には、ワールドカップの活動と規模は異なりますが、会津工業高校電気科への関心を深めて頂ければと思っております。その中で、ご指導ご助力ご助言を頂けると、我々職員ならびに生徒にも励みになります。今年度もどうぞよろしくお願いたします。

担任は、1学年に、小関裕一教諭(情報技術)、2学年は真田郁夫教諭(情報技術)、3学年は石田由紀子教諭(数学)が担当し、クラス経営にあたっております。現在、全学年で120名の生徒が情報技術科に在籍しております。

本校情報技術科が平成元年に設立され、30年目となりました。目まぐるしく変化している情報化社会の中で、常に新しい技術に注目しながら、基礎・基本をベースに各分野で即戦力になれる人材育成に取り組んでおります。

近年は、企業からの求人数も上昇傾向にあり情報技術科の3年生も県内外で良好な結果を得ております。今年も就職内定率100%を目指します。進学においても、会津大学へ3名が合格するなど、地元をはじめ、様々な大学・専門学校等に進学しております。

企業や学校においても、情報技術はすべての分野で活用され、重要視されております。時代の変化に取り残されないよう、常に新しいものに目を向けながらも、基礎・基本を大切にしながら教育を、科職員全員で取り組んでいきたいと考えております。近年は各種OSを活用したプログラミングの実践演習、各種マイコンを活用したコンピュータ制御技術など、1年生から3年生までの通した流れの中で実施していきます。

生徒たちは今年度も、課外活動や課題研究の活動を通し、各種資格取得に熱心に取り組んで迎えて、6名で担当しております。

# 情報技術科

ジュニアマイスター顕彰の受賞や各種コンテスト・コンクールへの参加など、様々な場面で活躍しております。これからも、生徒自身の将来を捉えた目標達成や自己実現へ向けた取り組みに対し、科職員一丸となって後押しをしていきたいと思っております。日頃から、同窓会の皆様からは暖かいお言葉を頂戴しており、心から感謝申し上げます。今後とも後輩へのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

- ◆各種大会などへの取組
- ・コンピュータアイデアコンテスト
- ・高校生ものづくりコンテスト
- ◆資格検定への取組
- ・電気通信工事担任者試験
- ・基本情報技術者
- ・ITパスポート
- ・情報技術検定
- ・パソコン利用技術検定



主任 真田 郁夫  
平成30年度は、3名の先生を迎え、6名で担当しております。



# 奮るえや会工の健男児

応援歌から

## 学び舎 ロケーション② 2018会工、鍛えの各部

### 山岳部

顧問 川井 勉  
菅家 慶 広

山岳部は1年生3名、2年生1名、3年生8名計12名で活動しています。

昨年度の夏合宿は尾瀬の燧ヶ岳・至仏山に2泊3日で行きました。特に見晴キャンプ場から至仏山の登山口までは片道8kmと遠かったですが、花の百名山に指定されているだけありすばらしいお花畑を満喫しました。現在の3年生は1年次は5名からスタートしましたが、他の部から転部し徐々に部員が増え8



### サッカー部

顧問 加藤 善 範  
佐野 正 司  
小川 拓 也  
高畑 利 夫  
飯塚 誠

名となりました。新しい部員も仲良く活動してきました。現在山岳部を取り巻く環境はとて厳しく県内でも1年に2〜3の学校が廃部となり、19校300名しか部員がいません。会津でも会津高校と2校のみとなりました。本校から山岳部の火を消さないように頑張っていきたいです。

高校サッカー選手権大会福島県大会の1次予選2回戦東日本代昌平高校に1対1でPK戦となりましたが、破れてしまいました。また、福島県サッカーリーグ戦(F2リーグ)においては3勝6引き分け9敗で8位となり、2019年度もリーグ戦で戦うことが決まりました。今後チーム一丸となって目標を達成できるように全力で頑張りますので、応援よろしくお願いします。



### バドミントン部

顧問 井上 浩 一  
齋藤 大 和  
栗田 克 志

バドミントン部は、男子24名、女子7名の計31名で活動しています。バドミントン経験歴は様々で、小学生からクラブチームで活動している生徒もいれば、高校より始めた生徒もおります。実力や目標に差は生じますが、取り組む姿勢は皆同じです。

バドミントンの活動を通して人間関係を築き他人と接する際の礼儀・マナーを学び、生徒自身が、自己目標を定めて、日々努力していきたいと思っております。



### バレーボール部

顧問 福島 広 己  
湯田 ときえ  
猪股 俊 伸

バレーボール部は、男子部が33名、女子部が11名の総勢44名で活動しています。休日は県外



遠征や練習試合で他校のバレーボール部と切磋琢磨し、男女とも大会での勝利に向かって練習に励んでおります。また、先生方やOB等、多くの方々からご指導・ご助言をいただき大変お世話になっております。これからも、礼儀や感謝の心を大切に、一人一人が人間力を磨き、

### ソフトテニス部

顧問 武田 秀 幸  
大木 孝 之  
佐々木 重 人

チームワークを重視し、上位大会で活躍できるよう、チーム一丸となって努力していきたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。

今年度は、男子13名、女子2名の新入部員を迎え、総勢30名で活動しています。学校にコートがないため、会津若松市宮のテニスコートで練習しています。技術だけではなく、メンタルの強化にも取り組み、一人一人が向上心を持って練習に取り組んでいます。



今年度は、インターハイ地区大会の団体で好成績を残すことができました。  
県大会ではベスト8以上の成績を目指して日々練習に励んでまいりますので、ご支援よろしくお願いいたします。

### 硬式テニス部

顧問 齊藤 雅夫  
鈴木 大樹  
佐藤 伸哉

硬式テニス部は3年生6名、2年生9名(女子2名)、1年生10名の25名でインターハイ出場を目標に活動を行っています。テニスコートが学校に無いため、会津総合運動公園や鶴ヶ



城のテニスコートを使用して練習を行っています。他団体の大会等がありテニスコートを使用できな日もあり、練習場所の確保にはいつも苦労しています。ですが、各種大会への参加はもちろん、県内外の強豪校との練習試合も多く実施し、限られた時間の中でも目標達成のために日々努力をしています。

先日開催された、インターハイの県予選ではシングルスで3年機械科の池田剛希君が優勝し、8月に三重県で開催された念願のインターハイへ出場することができました。また、9月に開催された福井国体にも出場し、福島県代表として大会に出場することができました。

今後も、全選手がより一層の努力をしていきますのでご指導、ご支援よろしく申し上げます。

### バスケットボール部

顧問 阿部 哲也  
日出山 亜希子  
金子 卓矢

バスケットボール部は、地区大会上位入賞、そして県大会で1つでも多く勝ち上がることを目標として、日々練習に励んでいます。3年生5名は、会工らしいプレーを貫いた、粘り強い戦いを展開してきました。地区大会で好位置を維持し、また、県大会でも健闘しました。持前の忍耐力で、最後の最後まで諦めない姿勢を後輩たちに示し



ました。また、マネージャー1名も選手と心を一つにし、献身的にチームを支えてくれました。夏以降、2年生13名(うちマネージャー1名)、1年生7名(うちマネージャー1名)の体制で新たな会工バスケットボール部がスタートしました。持味のスピードバスケットを維持し、どのような相手にも会工らしいプレーが発揮できるよう、体力の増強と個人技術の向上に取り組んでいます。大きなプレイヤーはいませんが、チーム全員で気持ちを一つにして戦うという信念を持ち、切磋琢磨しながら練習に取り組んでいます。

一戦一戦を大切に戦い、一戦ごとに成長して強くなるチームを多くの人から応援されるチームを目指し、一人一人が自身の成長を決意しています。今後の大会で良い結果を積み重ね、目標達成に向けて全力で頑張っていきますので、これからも先輩方の力強いご支援をお願い致します。

### 野球部

顧問 鈴木 雅博  
村山 彰一  
斉藤 辰也



OB会各位には、島影会長を中心に日頃より物心両面で御支援を賜り心より御礼申し上げます。平成29年度は、少人数ではありますが、主将の羽金夏輝(3年生)を中心に毎日稽古に励んできました。本年度行われたインターハイの県大会では、一回戦で敗退したものの日々の厳しい稽古の成果もあり善戦することができました。3年生は思うような結果を残すことはできませんでしたが、剣道を通して心身ともに成長することができました。

今年、2名の新入生が入部しさらなる高みを目指し、新しく主将になった安部雅希が部を率いて活動しております。

部員は少数ではありますが、日々の稽古に全力で取り組み、上位大会に進出できるよう励みます。

### 剣道部

顧問 古川 高清  
片寄 悦広



で参ります。今後とも先輩方の御支援御協力をよろしくお願いいたします。

### 柔道部

顧問 菊地 研吾  
大原 満  
渡部 哲



今年度1名の新入部員を迎え、男子3名、女子1名、合計4名の部員で活動をしています。平日は、16時から18時30分まで、土曜日は8時30分から12時30分までが練習時間となります。日曜日と水曜日は原則休みで学習時間を確保するように配慮しています。

練習内容は、平日は準備運動、寝技の打ち込み、寝技の乱取り、立ち技の打ち込み、和知技の乱取り、サーキットトレーニングです。長期休業中は合宿や練習試合など結構ハードな活動をしています。

武道場は、畳が古く破れたところはテープで補修しながら大切に使っています。その他にシャワールームや洗濯機も完備されています。生徒には、夏の暑い時期に利用しているようです。また鶴城会館は、合宿等で利用させていたたいしております。このような恵まれた環境で部活動ができるのも保護者の方々ははじめ同窓会の皆様方の御協力と御理解があればこそできることだと感謝しております。

今年は、会津地区大会において男子団体は出場できなかったものの、個人戦では、男女3名出場し、男子81kg級第2位、90kg級第2位、女子57kg級第2位、県予選では、男子81kg級ベスト16、90kg級ベスト16、女子57kg級1回戦敗退という成績でした。私達は「柔道」というスポーツを通して躰と心を鍛え、勝つことだけでなく、礼節を持ち、常に試合で勝つても負けても相手を尊重し、共に切磋琢磨しながら自己を磨いていくことを目標としています。

「継続は力なり」という言葉のとおり、部員達は、「休まず努力すること」を念頭に柔道と勉学を両立させて未来に向けて頑張っています。

## 水泳部

顧問 波川 順一  
岩澤 巖

水泳部は、10名(3年生5名、2年生4名、1年生1名)で活動しています。しかれどもそのうちマネージャーが4名で、選手が6名です。3年生の選手が引退してからは、1・2年の選手が3名という現状です。

水泳競技は、個人種目でありタイムを争う競技です。部員数の過多に関わらず、タイムを目標として活動する種目です。各自1秒でもタイムを縮め上位大会に出場できるように頑張っているとおもいます。とは言え、競技選手が多い方が各自のモチベーションあがりますので、多くの生徒の入部を期待します。水泳は、ダイエットなど健康維持に最適なスポーツでもあり長



い人生を通して継続できるものなので始めてみてはいかがでしょうか。

## スキー部

顧問 相原 正裕  
茂木 利幸



会工スキー部は、アルペンと競技とクロスカントリー競技の2種目で活動しています。毎年、全国高校スキー大会や全国高校選抜スキー大会・国民体育大会冬季大会スキー競技会・全国ジュニアスキー選手権大会等に本県代表として出場し、本県スキー界を牽引する活躍を担っています。

昨年度は、国内大会の最高峰である全日本スキー選手権大会(アルペン・スパー)大回転競技に、三星瑠維(現3E)が出場を果たしました。

2018-2019シーズン

も、これまでの伝統を引き継ぎ、県高校スキー大会や県総体スキー競技会を確実に勝ち上がり、東北大会や全国大会で活躍することを目標に「夏に泣き、冬に笑う!!」を合い言葉に、日々トレーニングに励んでいます。

今年度は男子4名(アルペン2名、クロカン2名)の選手構成ですが、各種大会において、会津工業高校スキー部の新たな歴史を刻めるようにチーム一丸となって頑張ります。

## 陸上競技部

顧問 石崎 晃

寺島 弘幸  
山田 孝賢  
菊地 孝夫  
武田 厚彦

新入生20名が新たに入学し、鈴木キャプテンを中心に、3年18名と2年17名の計57名(7月現在)で、あいつ陸上競技場を拠点とし、熱心に活動している。本年度は、県大会太種目で活躍し、男子総合3位(公立校ではトップ)になった。さらに東北高校大会に8種目10名参加。小島小次郎(円盤投)・千葉琉生(走幅跳)2名が上位入賞を果たし、三重インターハイに参加した。

これから廣田キャプテンを中心とした新人チームとなるが、陸上競技をとおし、技術の向上や身心の鍛錬はもとより、社会性の涵養と人格の醸成を目指す。



## 卓球部

顧問 児島 二郎

佐々木 龍  
小泉 修

卓球部は顧問の児島先生、佐々木先生、小泉先生の下、日々活動しています。現在は引退してしまつた3年生7名と、2年生6名、1年生10名が在籍しています。現在は、多球練習や実践を想定した三球目攻撃の練習、大会や日々の練習で見つけた課題の練習、筋トレをしており、卓球の技術と身体の強化に取り組んでいます。これらの練習メニューを一人ひとりが真

剣に取り組み、大会でひとつでも多く勝ち上がり良い成績が残せるよう努力しています。私たちの目標は、地区大会団体戦優勝、県大会団体・個人戦ともにひとつでも多く勝ち上がり、東北大会に出場することです。



## 弓道部

顧問 佐藤 慶一

高橋 英美  
武山 小百合

福島県立会津工業高等学校は今年で創立115年を迎える福島県有数の伝統校である。弓道の歴史も古く、その発足は昭和8年(1933年)にまで遡る。現在、部員数は男子26名、女子7名の計33名。保護者やOBなど多くの人々に支えられて

活動している。

会津工業の弓道を一言で表せば「努力の集大成」である。その弓は日々の研究と手数によって磨かれる。生徒は真剣に弓を教わり、書籍を通して射法を研究する。言葉が発さず一心不乱に弓を引く姿は、まさに本校校歌の中にある「至誠勤勞」を体現したものと云える。部員の一人一人が弓道に対する情熱を持ち、それらが彼らを動かす原動力となっている。

昨年度、会津地区で開催された東日本弓道大会に出場し、今年度は全国出場を目標に部員一丸となつて挑戦していくであらう。「会津地区の強豪」から「福島県の強豪」へ。厳寒会津で育つ弓道魂。良き伝統として受け継がれていくことを期待する次第である。



### 空手部

顧問 佐藤 聖  
鶴沼 健吾



今年度は3年生3名、2年生4名、1年生7名の計14名で活動しています。去年よりも多く1年生が入部し、新入部員に恵まれました。各自が目標をもち、練習に励んでいます。

昨年までは永山先生、境先生に空手の技術面などを教えていただいたのですが、今年の3月にどちらも転勤してしまい、とても不安な状況でした。そこで、私たちは先生方に教わった空手の精神と技を生かしながら充実した練習にできるよう、日々心掛けています。

7月にある県総で一人一人が出せる全力を出し、一勝でも多く勝ち、悔いの残らない大会にしたいです。また、来年度は先

生や先輩方からの伝統を後輩に受け継がせ、この空手部をより良い部活にして欲しいと思えます。

### ボクシング部

顧問 長谷沼 徹  
齋藤 啓

今年度、3年生7名(内女子マネージャー1名)、2年生2名、1年生6名(内女子選手1名、男子マネージャー1名、女子マネージャー1名)が活動しています。

練習は、会津第二高校の篠原宏和先生のご指導のもと、北3棟3階で、日々の練習は放課後、基礎的なトレーニング・実践的なトレーニングを日替わりで2時間程度、休日は基礎的・実践的なトレーニングを4時間位実施しています。また、校内の合



宿や県内・県外合宿も多く実施しています。

昨年度は、8月3日から10日まで、「はばたけ世界へ 南東北総体 2017」が開催され、△繋がる絆 魅せよう僕らの若い力Vをスローガンにあいつ総合体育館で第71回全国高等学校ボクシング選手権大会が開催されました。大会運営には、本校からは勿論、地元の高専から多くの補助員の生徒や先生の協力を頂き、大会を終了することができました。感謝いたします。

今年度は、8月1日から7日まで、岐阜市のOKBぎふ清流アリーナで第72回全国高等学校ボクシング選手権大会が開催されました。情報技術科3年の小池凌雅君がバンタム級で、情報技術科3年の齋藤峻君がライト級で、機械科3年2組の星輝彦君がライトウェルター級で、セラミック化学科3年の田部柊哉君がウェルター級で出場しましたが、全員1回戦で負けてしまいました。日本ボクシング連盟の問題で印象深い大会となりました。

8月24日から26日に開催された、第45回東北総合体育大会ボクシング競技では、小池凌雅君がバンタム級で優勝し、成年男子も、10月に福井県で開催される国体出場が決まりました。今後とも向上心を胸にこれからも部員と顧問が一体となって練習に励みたいと思えます。今

後ともよろしくお願いいたします。

### 吹奏楽部

顧問 高橋 温仁  
佐藤 良美

今年度も新たに9名の新入部員を迎え、現在23名で活動しています。地区・県の発表会を経て7月のコンクール支部大会、そして県大会へと進みました。お陰様で今年も前年度と同じく金賞(総合3位)を受賞することが出来ました。現在は次の大目標である定期演奏会に向けて部員一同練習に励んでいます。

人数は少なくなりましたが、一昔前に比べて音楽的な潜在能力を秘める生徒が多くなったように感じます(それが開花するかどうかは別として)。特に、入学してくる1年生に関してはここ数年のレベルアップは目を見張るものがあります。柱となる経験者に加え、入部後驚くほどの伸びを見せる初心者。もしこの部員達でもっと人数が増えれば…。そういった部員たちが卒業後、後輩のためにと定期演奏会を全力でサポートする環境は、他校の吹奏楽部にはない「タテのつながりの良さ」の証明です。同窓生のエネルギーは今も切れることなく脈々と後輩達へ受け継がれています。今後とも先輩方のご指導・ご支援をよろしくお願いします。

### 演劇部

顧問 石田 由紀子  
井関 有紀子  
鈴木 美枝子



演劇部は現在、3年生が進路活動のために休部しており、2年生5名、1年生2名で活動しています。少ない人数ではありますが、皆で日々の練習に励んでいます。9月には唯一上位大会に進むことができる「秋のコンクール」があり、今はそれに向けて頑張っているところで、発声・滑舌・柔軟などの基礎力強化と同時に、大会で発表する劇の脚本の読み込みをし、役作り・劇作りを中心に取り組んでいます。また、時間を作った見に来てくださる3年生・卒業生の先輩方からの助言も大き

な力となっています。

今後の目標は上位大会へ進むことはもちろん、今までで一番良い劇を発表することを最優先に考え、緩すぎず固すぎない居心地の良い部を作れるように頑張っていきたいと思います。

### アマチュア無線部

顧問 佐久間 智 広



現在の活動は、一昨年度特別予算で購入した無線機を活用し、日々の交信活動を幅広く行いながら、各種のコンテストへ参加するべく技能の向上に努めています。今年の部員は3年生、2年生各1名に1年生が3名入部しました。昨年度入部の生徒は免許を取得し、今年は3年生と共に交信を行っています。今後は1年生も免許を取得し、活動の機会を広げて行くことに期待が持たれています。

### 写真部

顧問 佐々木 重人  
滝沢 全



私達写真部は、現在42名が在籍し、日々2割が精力的に活動しています。基本的活動日は週3回(月・火・金曜日)です。身近な史跡等を写真撮影したり、銀塩写真のDPEなども行っています。

今年、市内の他校写真部と一緒に写真撮影技術講習会に参加し、撮影技術を学びました。夏には、同様に山形方面での合同写真撮影会にも参加し、写真撮影をしました。今後は、12月に福島市で開催される県写真展に向けて作品作りに取り組みんでいます。また、冬には雪景色をモチーフにした作品作りにも取り組みたいです。

### 英会話部

顧問 佐藤 良 美

今年度は、男子12名、女子5名、計17名が登録しています。4月から毎週金曜日に(Day) (ゲイリー) 先生が来校されていますので、放課後に英会話の練習をしています。授業と違って話す機会が多く、先生に丁寧なサポートをしていただきながら表現力アップを目指しています。



### 建築インテリア部

顧問 高橋 弘 光  
寺島 弘 幸  
利根川 真美 香

部員10名は、10月下旬の『高校生ものづくりコンテスト2018』の課題練習に励んでいます。3年生は1年生に技術を教え、1年生はコンテストの選手として頑張る。さらに6〜10月にか



けては1年生部員と他15名の受講希望の生徒が、高度熟練指導者の講師の方から10日間の指導を受けました。

また他校間との交流授業の準備を3年生が担当するなど大変ではありますが、部活で身に付ける『正しく速く美しい』の正速美を、他の場面でも発揮できる応用力を身に付けるのもまた目標です。今後ともよろしく願い致します。

### セラミック化学部

顧問 大濱 達 明  
山 野 敏

会津総合美術展では、部長の小柳君が青少年奨励賞を受賞、県展は7名中5名が入選でした。明るい釉の開発と造形にもっと力を入れたいと思えました。地域貢献活動は、5月のふれあい茶会、8月のせと市に参加し、地元の人々との交流を深めています。10月は3年に一度の会工



平成30年度せと市参加者

祭がありみせと市を行う予定です。1年生を含め部員14名で作品制作をがんばっています。

### 機械研修部

カート班顧問 高橋 浩 二  
茂木 利 幸  
大竹 良 宣

◆カートの活動  
年に2回「省エネを目的とした電気及びガソリン自作自動車の燃費競技」の大会に参加しております。

5月始めには、秋田県「大潟村ソーラースポーツライン」を競技会場として開催された「2018ワールド・エコ・ムーブ大潟大会」で、本校機械科卒業生の大先輩である遠藤昭二様のご支援いただいた新しいモーターで参戦し、競技コース6kmを12Vバッテリー4個のイコールコンディションではありますが、車両は各参加チーム自作で製作しておりカーボン製のカウルと

高額の製作費をかけているチームが多い中、本校チームは部として使える活動費が少ないので製作費をかけない従来通りの高校生が作る車両をコンセプトとして、アルミフレーム・再生ベツトカウル・一部木工での車両製作し競技に臨み、1日目予選(スタート位置決定戦)ではタイヤ空気圧を高くしたため2周目でパンクリタイヤ、スタート位置が最後尾から6番目と不利な状況下2日目の本戦となり総合22位・ジュニアクラス13位と健闘し、特別賞(木材を利用したエコに与える賞)として古河林業賞を受賞することが出来ました。

9月末には栃木県「ツインリンクもてぎ」を競技会場として開催される「ホンダ・エコマイレッジ・チャレンジ2018全国大会」で、ガソリンリット



ル換算で1周約2kmのオーバルコースでの走行距離を競う大会です。

この大会は1人乗り部門（高校生クラス）・周回7周と2人乗り部門・周回3周の2部門に出場します。

1人乗り部門では唯一1人だけの2年生がドライバーとなり、また、2人乗り部門では2名の3年生女子部員がドライバーと同乗者として挑戦いたします。

今回の2人乗り部門ドライバーは未経験の女子生徒が担当しますので安全を重視した走行練習を行い完走と入賞を目指し努力したいと思えます、今後も部活動について応援よろしくお願ひいたします。



◆機械研修班ロボット班  
機械研修部のロボット班では主に毎年行われている県高等学校ロボット競技大会に向けたロボットを制作しています。今年

は9月11日に福島工業高等学校で、テニスボールやバレーボール、ペットボトルといったアイテムを運びコース内に積み上げ、マイコンを使って自立走行するロボットを使い競技します。今年度もアイデアを活かしたロボットで参加して24チーム中12位となりました。また、会津若松で行われている、ロボコンin会津2018にも出場し、小生や一般に混じって入賞目指してロボット作りに励んでいます。応援よろしくお願ひします。

今年度の電気部は3年生12名、2年生15名、1年生6名の部員で構成され、指導は顧問をはじめ電気科の職員が担当しています。

### 電気部

顧問 阿部 昇二

年間を通した活動として、新入生に対する部活動紹介（4月）、第2種電気工事士筆記試験（6月）、第2種電気工事士技能試験・中学生体験入学における電気科の紹介（7月）、第1種電気工事士筆記試験・ものづくりコンテスト県大会（10月）、第1種電気工事士技能試



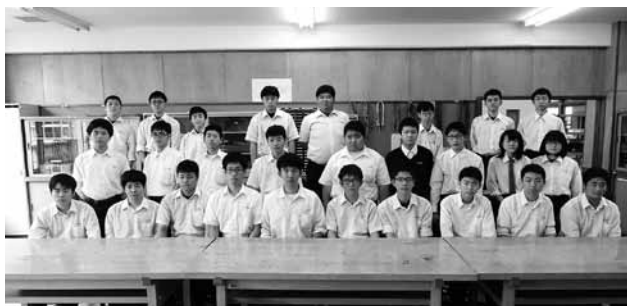
験（12月）などです。とりわけ電気部では「各種資格取得」と「ものづくりコンテスト」に力を入れていきます。

また今年には宮城県で開催された、ものづくりコンテスト東北大会（8月）に2年生の齋藤泰地君が出場しました。

### I-T研究部

顧問 小泉 龍

真田 郁夫  
小関 裕一  
山本 義文



I-T研究部は情報技術科の生徒で構成されている部活です。大会班と資格班に分かれて、放課後に情報技術科の実習室で活

動しています。メンバーは1年生から3年生まで幅広く、個性豊かな生徒が在籍しています。昨年からは大会班は活動が盛んで、7月に民家の甲子園県大会9月にパソコン甲子園予選に出場し、今後は11月にマイコンカントリー県大会、12月にマイク

ロロボットコンテストに出場します。資格班は、主にI-Tパスポート試験、情報セキュリティマネジメント試験、工事担任者試験に多くの生徒が挑戦してきました。今後は、基本情報技術者試験など、もつとレベルの高い試験に挑戦していきたいと考えています。

I-T研究部のメンバーは、優秀でまじめな生徒がそろっているため、今後は今まで以上に活発な活動をしたしたいと思います。応援よろしくお願ひします。

### 生活科学同好会

顧問 齋藤 桂子

会員は男子7名、女子10名、計17名で、お菓子や料理作りを中心に活動しています。今は手軽に作れるものが多いですが、少しずつ手の込んだものにも挑戦しレベルアップしていきたいと思っています。2学期には、栄養教諭の方をお招きし、栄養教室を開催する予定です。お話をとおして食について理解を深め、食の大切さを多くの人に伝える活動も今後していきたいと考えています。



### 茶道同好会

顧問 佐藤 みき

今年度の茶道同好会の活動は学校でのお稽古の他に、ふれあい茶会、あやめ祭り、学習会への参加・八公開文化祭の茶会です。今年度は3年生1名・2年生7名・1年生2名、合計10名の



大人数で活動しています。

ふれあい茶会は、毎年参加させて頂いています。去年は先輩のお点前を見ているだけで披露することができました。自分達の成長を感じることができたので、とても良い経験になりました。後輩たちも、お茶の影出しで頑張っており、これからの活動に繋げていって欲しいです。

あやめ祭りや学習会では、たくさんのお茶の先生方と関わってお話をすることができ、新しく学ぶことが多くありました。私は大人になっても茶道を続けていきたいと思っているので、とても貴重な時間でした。特に学習会での「座入り」の仕方を学ぶことができて良かったです。

来年度に向けて、茶道同好会が茶道部に昇格できるということです。茶道同好会を作った下さる先生、会工に毎週いらして下さる講師の先生、先輩方に感謝しています。私は今度の文化祭で引退となってしまいますが、悔いの残らないよう最後まで会長として同好会を支えたいと思っています。

# 部活動大会結果報告

## 【野球場部】

●第70回春季東北地区高等学校野球福島県大会  
1回戦 対 福島成茂 5-1 勝利  
2回戦 対 安積 2-1 惜敗

●第100回全国高等学校野球記念福島大会  
1回戦 対 福島西 3-4 惜敗

●第70回秋季東北地区高等学校野球福島県大会  
1回戦 対 福島西 2-0 勝利  
2回戦 対 日大東北 0-10 惜敗

## 【硬式テニス部】

●第25回東北春季ジュニアテニス大会  
U18男子シングルス 第1位 池田 剛希(3M2)

●第35回福島県春季ジュニアテニス選手権大会  
U18男子ダブルス 第1位 池田 剛希(3M2) 齋藤 大生(会津)  
U18男子ダブルス 第1位 神村 龍飛(3M2) 井上 翔(2M2)  
U18男子ダブルス 出場 新井田琉心(3A) 高木 拓実(3C)  
U16男子ダブルス 第3位 遠藤 新(2E) 齋藤 冬真(葵)

## 【バスケケットボール部】

●第44回福島県ダブルステンニス選手権大会  
ダブルス 第2位 池田 剛希(2M2) 齋藤 大生(会津)

●第64回福島県高等学校体育大会 会津地区大会  
男子 第3位  
●第64回福島県高等学校体育大会 会津地区大会  
男子 第3位  
●第68回全会津総合体育大会 1回戦敗退  
少年男 第4位  
●第55回福島県選抜高等学校バスケットボール選手権会津地区大会 第3位

## 【柔道部】

●第64回福島県高等学校体育大会柔道競技会津地区予選  
男子81kg級 第2位  
男子100kg級 第2位  
女子57kg級 第3位

## 【水泳部】

●第44回福島県高等学校体育大会水泳競技大会  
400mフリーリレー 20位 (東北大会出場) (小向佑典、良田裕光、納谷楓麻、天野世那)  
400mドレーリレー 16位 (小向佑典、天野世那、高橋竜佑、納谷楓麻)  
50m自由形 12位 3年 小向 佑典  
100m自由形 44位 2年 納谷 楓麻  
100m自由形 46位 2年 良田 裕光  
100m自由形 10位 3年 小向 佑典  
200m平泳ぎ 29位 2年 納谷 楓麻  
100m平泳ぎ 34位 2年 良田 裕光  
200m平泳ぎ 36位 3年 天野 世那  
100mバタフライ 9位 1年 高橋 竜佑

## 【陸上競技部】

●第63回福島県高等学校体育大会陸上競技大会  
男子総合 第3位  
100m 第4位 齋藤 淳平  
110mH 第2位 鈴木 淳平  
400mH 第4位 鈴木 淳平  
走幅跳第2 第2位 千葉 琉生  
200m 第4位 千葉 琉生  
砲丸投 第2位 小島小次郎  
円盤投 第3位 小島小次郎  
3000mS 第4位 木村 吉希  
棒高跳 第6位 三浦 遂也  
4×100mR 第3位 (渡部駿斗、千葉琉生、皆川綺羅、鈴木淳平)

●第73回東北高等学校陸上競技大会  
100m 準決勝敗退 齋藤 淳平  
110mH 準決勝敗退 鈴木 淳平  
400mH 準決勝敗退 鈴木 淳平  
走幅跳 第6位 千葉 琉生  
200m 準決勝敗退 千葉 琉生  
砲丸投 第9位 小島小次郎  
円盤投 第4位 小島小次郎  
3000mS 予選敗退 木村 吉希  
棒高跳 予選敗退 三浦 遂也  
4×100mR 準決勝敗退 (渡部駿斗、千葉琉生、皆川綺羅、鈴木淳平)

●第73回福島県陸上競技選手権大会兼第71回福島県総合体育大会陸上競技大会  
100m 第8位 齋藤 淳平  
400mH 第8位 鈴木 淳平  
4×100mR 第4位 (渡部駿斗、千葉琉生、皆川綺羅、鈴木淳平)  
棒高跳 第3位 鶴川 由夢  
走幅跳 第6位 千葉 琉生  
少年B砲丸投 第3位 笠間隆之介  
少年共通110mJH 第3位 鈴木 淳平  
少年共通円盤投 第2位 小島小次郎

## 【弓道部】

●第72回全国高等学校ボクシング選手権大会  
バンタム級 1回戦負 小池 凌雅(3I)  
ライト級 1回戦負 齋藤 峻(3I)  
ライトウェルター級 2回戦負 星 輝彦(3M2)

●第45回東北総合体育大会ボクシング競技大会  
バンタム級 優勝 小池 凌雅(3I)  
ライト級 優勝 齋藤 峻(3I)  
ライトウェルター級 3位 齋藤 峻(3I)

●第72回東北高等学校体育大会ボクシング競技大会  
バンタム級 優勝 小池 凌雅(3I) (敢闘賞)  
ライト級 第3位 齋藤 峻(3I)  
ライトウェルター級 第3位 長谷川 宙(2I)

## 【ボクシング部】

●第64回福島県高等学校体育大会ボクシング競技大会  
学校対抗 1位 小池 凌雅(3I)  
バンタム級 1位 齋藤 峻(3I)  
ライト級 1位 齋藤 峻(3I) (東北大会1部・全国大会出場)  
2位 長谷川 宙(2I) (東北大会2部出場)

●第72回東北高等学校体育大会ボクシング競技大会  
学校対抗 優勝 小池 凌雅(3I)  
バンタム級 優勝 齋藤 峻(3I) (敢闘賞)  
ライト級 第3位 齋藤 峻(3I)  
ライトウェルター級 第3位 長谷川 宙(2I)

## 【バレーボール部】

●第64回高体連・会津地区大会 第3位  
●同 高体連・県大会 初戦敗退  
●第68回全会津総合体育大会 第3位  
●第71回福島県総合体育大会 初戦敗退 (女子)  
●第64回高体連・会津地区大会 予選敗退  
●第68回全会津総合体育大会 予選敗退  
●第36回福島県吹奏楽コンクール会津支部大会  
高等学校小編成の部 金賞  
●第56回福島県吹奏楽コンクール県大会  
高等学校小編成の部 金賞  
●平成29年度第53回県高校新人登山大会 西吾妻 9名参加  
●平成30年度第63回県高校体育大会登山大会 西吾妻 9名参加

## クラブガイド

●第71回福島県総合体育大会ホクシング競技 (少年の部)  
女子近代的個人 第4位 安彦 凛(3I)  
第5位 高橋 優衣(2C)  
男子遠的団体 第4位  
女子近的団体 第2位

●第64回福島県高等学校体育大会ボクシング競技大会  
学校対抗 1位 小池 凌雅(3I)  
バンタム級 1位 齋藤 峻(3I)  
ライト級 1位 齋藤 峻(3I) (東北大会1部・全国大会出場)  
2位 長谷川 宙(2I) (東北大会2部出場)

●第72回東北高等学校体育大会ボクシング競技大会  
学校対抗 優勝 小池 凌雅(3I)  
バンタム級 優勝 齋藤 峻(3I) (敢闘賞)  
ライト級 第3位 齋藤 峻(3I)  
ライトウェルター級 第3位 長谷川 宙(2I)

●第72回全国高等学校ボクシング選手権大会  
バンタム級 1回戦負 小池 凌雅(3I)  
ライト級 1回戦負 齋藤 峻(3I)  
ライトウェルター級 2回戦負 星 輝彦(3M2)

●第45回東北総合体育大会ボクシング競技大会  
バンタム級 優勝 小池 凌雅(3I)  
ライト級 優勝 齋藤 峻(3I)  
ライトウェルター級 3位 齋藤 峻(3I)

●第64回高体連・会津地区大会 第3位  
●同 高体連・県大会 初戦敗退  
●第68回全会津総合体育大会 第3位  
●第71回福島県総合体育大会 初戦敗退 (女子)  
●第64回高体連・会津地区大会 予選敗退  
●第68回全会津総合体育大会 予選敗退  
●第36回福島県吹奏楽コンクール会津支部大会  
高等学校小編成の部 金賞  
●第56回福島県吹奏楽コンクール県大会  
高等学校小編成の部 金賞  
●平成29年度第53回県高校新人登山大会 西吾妻 9名参加  
●平成30年度第63回県高校体育大会登山大会 西吾妻 9名参加

会工応援歌

頑張れ応援歌

一、鶏鳴三度地に鳴きて  
会陽の地の朝ぼらけ  
緋緘鎧ふ若武者が  
血潮高鳴る胸の鼓動

二、おお胸躍る白虎の血潮  
世々受け嗣ぎし会津魂  
金甌馬は芳草の  
野に嘶くと謳わずや

三、今混沌の末の世に  
重き使命はこれなりと  
浮薄の俗を払うべく  
鍛えし選手の腕見よ

四、淡き憂に暮近く  
紫紺の夕の鐘の音に  
唐紅の口を漏る  
歡喜のどよめきかまほし

五、春繚乱の花吹雪  
秋荒涼の夕間暮  
たゆまず歩みし足跡は  
今彼の地にて現われん

頑張れ 頑張れ 頑張れ 健男子  
栄ある健児よ 理想の盾をば振りかざし  
破邪の剣とりて起て 打てやこらせや  
我等が敵を  
勝ちて勇姿を世界に示すは この秋ぞ  
奮るえや 会工の健男児  
フレーフレーフレー

会工賛歌（創立百周年記念歌）

作詞 会工高・100周年記念事業実行委員会  
作曲 Wataru Hokoyama (鋒山 亘)

一、あおぐ磐梯 我らの母校  
いま黎明の 思い新たに  
さあ進もうよ 真理もとめて  
青春かがやけ 会工さわやかに

二、数えきれぬ 出会いと別れ  
汗と涙と 友情はぐくみ  
さあ語ろうよ 明日をみつめて  
青春かがやけ 会工うつくしく

三、挑むころ 無限に広く  
知恵を出し合い 技をみがいて  
さあ創ろうよ 夢をかたちに  
青春かがやけ 会工たくましく

2018職員人事

お世話になりました。

益子 茂 教諭 退 職	小林 憲司 教諭 退 職	内藤美恵子 教諭 退 職	三橋 玲子 養護教諭 退 職	五ノ井平吉 教諭 川口高校	品川 実香 教諭 聴覚支援学校	矢澤 敦 教諭 葵高校	加藤 義勝 教諭 坂下高校	小野 裕久 教諭 湯本高校	黒澤 静子 教諭 福島工業高校(定時制)	村田 光夫 教諭 郡山北工業高校	阿部 友一 教諭 福島工業高校(定時制)	佐藤 直樹 教諭 平工業高校	永山小太郎 教諭 郡山北工業高校	渡邊 豊 教諭 埼玉工業高校	佐藤 文康 実習教諭 喜多方桐桜高校	中丸 淳 実習教諭 二本松工業高校	境 僚太 実習講師 平工業高校	星 明宏 実習講師 勿来工業高校	小林 毅之 常勤講師 小野高校	藤森 章 常勤講師 福島成蹊高校	木村有希子 時間講師 会津医療センター	佐竹 勝行 時間講師	穂積 奈穂 主事			
厚海 肇 教頭 郡山北工業高校	高橋 美美 教諭 湖南高校	鈴木美枝子 教諭 喜多方高校	大木 孝之 教諭 会津高校	武山小百合 教諭 修明高校	齋藤 桂子 教諭 喜多方高校	阿部 哲也 教諭 田村高校	佐藤 聖 教諭 勿来工業高校	古川 高清 教諭 新採用郡山北工業高校	鈴木 大樹 教諭 新採用	菊池 研吾 教諭 平工業高校	須藤 秀美 養護教諭 西会津高校	飯塚 誠 実習講師 郡山北工業高校	石井 洋子 実習講師 小高産業技術高校	金子 卓矢 実習講師 白河実業高校	小泉 龍 実習助手 新採用(埼玉工業高校)	鶴沼 健吾 実習助手 新採用(福島工業高校)	佐々木 修 常勤講師 若松商業高校	佐々木 重人 常勤講師 栃木県立足利工業高校	斎藤 啓 常勤講師	菅野 柳子 臨時事務補助員	佐藤 伸哉 (常勤講師) 工業(電気)	武田 厚彦 (期付実助) 理科	山本 義文 (期付実助) 工業(情報)	菊地 大志 (時間講師) 保健体育	矢内 吉美 (専門員) 事務部	古澤 淳 (臨時労務員) 事務部

※継続

山野 敏 (再任教諭) 工業(セ化)	湯田ときえ (常勤講師) 国語	菊地 孝夫 (常勤講師) 国語	齋藤 大和 (常勤講師) 数学	小川 拓也 (常勤講師) 工業(電気)
--------------------	-----------------	-----------------	-----------------	---------------------









## 会工同窓会本部役員

役職名	氏名	卒年	備考
顧問	若狭春生	S38K	本部選出 松江春次顕彰会会長
会長	藤田晴史	S40E	本部選出
筆頭副会長	浅田 誠	S43E	本部選出 若松会工学生会長
副会長	田中健一	S42E	東京会工学生会長
副会長	白井武男	S45A	建友会会長
幹事長	木村洋一	S50K	本部選出
副幹事長	佐藤義之	S42M	本部選出
副幹事長	荒川富士雄	S43M	本部選出
副幹事長	菊地壽雄	S48D	本部選出
副幹事長	荒井誠一	S49A	本部選出 会津美里会工会幹事長
幹事	江花光泰	S31L	本部選出
幹事	渡部昭寿	S34E	本部選出
幹事	安藤昭男	S35T	本部選出
幹事	近藤信行	S40E	本部選出
幹事	長谷川利彦	S41K	本部選出
幹事	武田芳仁	S47M	本部選出
幹事	野中寿勝	S50E	本部選出
幹事	長尾好章	S50T	本部選出
幹事	菅原正晴	S51A	本部選出
幹事	田勢光夫	S51A	本部選出
幹事	岩渕浩之	S54L	本部選出
幹事	森田哲郎	S55M	本部選出
幹事	渡部優生	S55M	本部選出
幹事	佐藤 満	S56A	本部選出
幹事	村澤 智	S62E	本部選出
幹事	渡部恵千子	H06D	本部選出
幹事	戸野部武彦	S40M	東京会工会幹事長
幹事	古川春樹	S41G	東海会工会事務局長
幹事	本名雄一	H13E	近畿会工会事務局長
幹事	藤沼嘉典	S32T	郡山会工会幹事長
幹事	梅宮 昭	S39A	いわき会工会幹事長
幹事	星 秀明	S40E	福島会工会幹事長
幹事	武藤 寛	S45C	坂下会工会幹事長
幹事	長谷川与一	S40E	猪苗代会工会幹事長
幹事	佐野常雄	S31E	湯川会工会幹事長
幹事	白井達夫	S43E	電友会事務局長
幹事	菊地登貴雄	S52M	機友会幹事長
幹事	梨子本 傑	S41K	セラ友会幹事長

役職名	氏名	卒年	備考
幹事	五十嵐慧夫	S26M	日立会工学生会長
幹事	高橋 誠	S60E	三菱伸銅(株)鶴友会会長
幹事	大塚裕一郎	H3C	昭和電工(株)会工学生会長
幹事	高橋伸幸	S51M	日曹金属化学(株)会工学生会長
幹事	珊瑚優治	S59C	三菱製鋼(株)会工学生会長
幹事	徳永正浩	S55E	東京電力パワーグリッド会工学生会長
会計	菅家慶広	S56A	事務局
会計	渡部 哲	S52M	事務局
監事	佐野常雄	S31E	会工電友会会長
監事	小山源昭	S38A	建友会前会長
監事	栗城和夫	S41M	機友会会長
参与	横山嘉夫	S26M	前松江春次顕彰会会長
参与	田中健一	S42E	東京会工学生会長
参与	三井正春	S41A	東海会工学生会長
参与	石川善一	S39E	近畿会工学生会長
参与	金田 寛	S21M	郡山会工学生会長
参与	二瓶嘉人	S39E	福島会工学生会長
参与	星 武	S27E	福島会工会前会長
参与	大川原昌之	S28E	いわき会工学生会長
参与	梨子本 傑	S41K	坂下会工学生会長
参与	五十嵐一夫	S43A	前坂下会工学生会長
参与	山口一男	S37A	猪苗代会工学生会長
参与	菅沼章生	S29C	湯川会工学生会長
参与	栗木俊昭	S45D	会津美里会工学生会長
参与	白井武男	S45A	建友会会長
参与	佐野常雄	S31E	会工電友会会長
参与	栗城和夫	S41M	機友会会長
参与	二瓶正人	S37K	セラ友会会長
参与	渡部洋子	S32K	前セラ友会会長
参与	曾根賢治	S36L	前会工美修会会長
参与	大竹文夫	S31C	前近畿会工学生会長
参与	坂内茂男	S32K	前監事
参与	関場一宏	S33K	前監事
事務局長	渡部 哲	S52M	会津工業高校教職員
事務局	大濱達明	S55K	会津工業高校教職員
事務局	菅家慶広	S56A	会津工業高校教職員
事務局	山野 敏	S49G	会津工業高校教職員
事務局	真田郁夫	S57E	会津工業高校教職員



**次回第112回総会は  
2019年10月19日(土)に開催しますので、  
是非ご参加ください！**



同窓会会報編集委員

同窓会会報委員長  
荒川 富士雄

**編集後記**

昨今の自然災害の多さには、只々驚いております。皆様の地域ではいかがですか、ここ会津では、雨がほしい時に降らず、秋になり、不要になったら毎日雨が降り続いています。人間、しょせん自然には敵わないのだという事を今更ながら実感しております。あっという間に一年が過ぎ、今年も会報発行の時期になりました。多くの会員さんに読んで頂けます様、皆様のご協力に感謝しながら、編集委員一同頑張っています。今年度は3年に一度の会工際が開催され、大勢の来客で大成功でした。今後とも会員皆様のご寄稿をお待ちしております。